

狭山市地域福祉推進計画
市民アンケート調査報告書

令和2年4月

狭山市・社会福祉法人狭山市社会福祉協議会

目 次

第1節 調査の概要	・・・	1
第2節 単純集計の結果		
(1) 回答者に関する基本的な情報	・・・	2
(2) あなた自身が抱える「不安・悩み」に関すること	・・・	6
(3) 近所づきあいに関すること	・・・	8
(4) 地域活動への参加に関すること	・・・	11
(5) 身近に感じる「地域」に関すること	・・・	18
(6) 地域福祉の推進状況に関すること	・・・	22
(7) 自由意見	・・・	25
第3節 クロス集計の結果		
(1) 「悩みや不安」に関すること	・・・	42
(2) 近所づきあいに関すること	・・・	44
(3) 地域活動への参加に関すること	・・・	46
(4) 身近に感じる「地域」とこれからの地域福祉に関すること	・・・	49
3 悩みと相談先の状況を把握する (A3)	・・・	52

市民アンケート調査報告

第1節 調査の概要

(1) 調査の目的

狭山市地域福祉推進計画の評価にあたり、狭山市民の福祉に関する意識及び潜在的なニーズ等を把握するとともに、今後の地域福祉に関する計画のあり方を検討するための基礎資料とすることを目的に実施しました。

(2) 調査対象者

1,999名（狭山市在住の18歳以上の方から無作為に抽出しました。）

(3) 調査方法

郵送配布・郵送回収

(4) 調査期間

令和元年12月2日（火）から12月27日（金）まで

(5) 回収結果

- ① 配布数： 1,999票
- ② 有効回収数： 811票
- ③ 回収率： 40.57%

前回調査

- 配布数： 1,987票
- 有効回収数： 830票
- 回収率： 41.77%

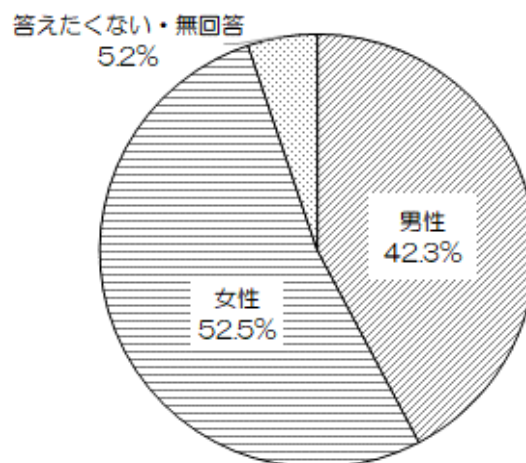
(6) 注意事項

- ① 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。
- ② 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常の100%を超えます。
- ③ 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いることがあります。

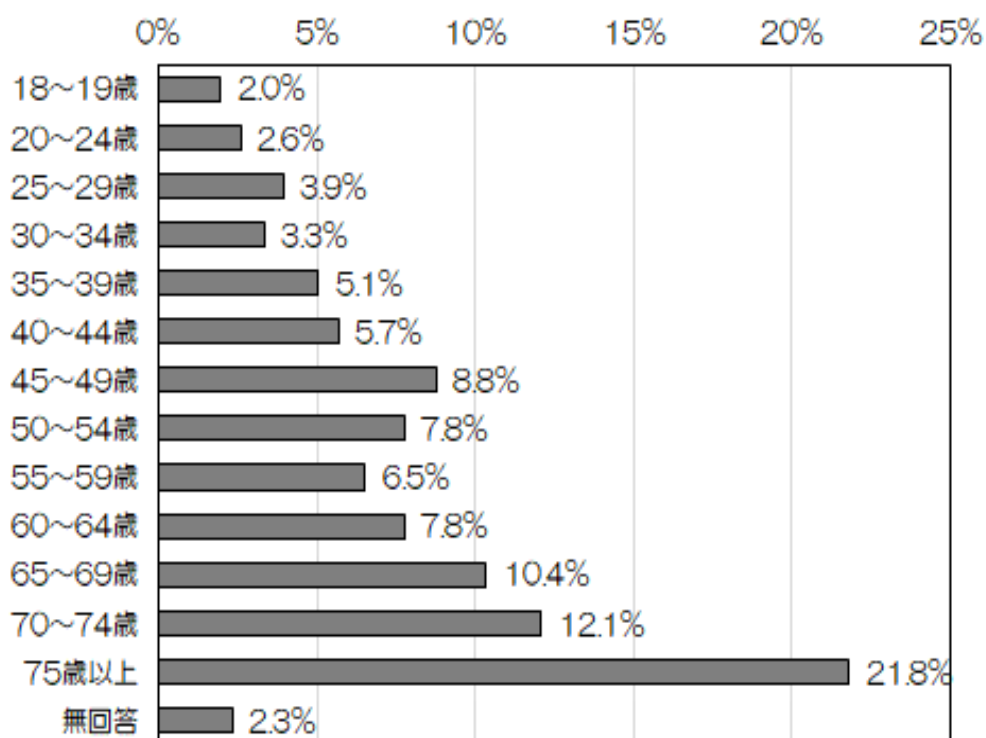
第2節 単純集計の結果

(1) 回答者に関する基本的な情報

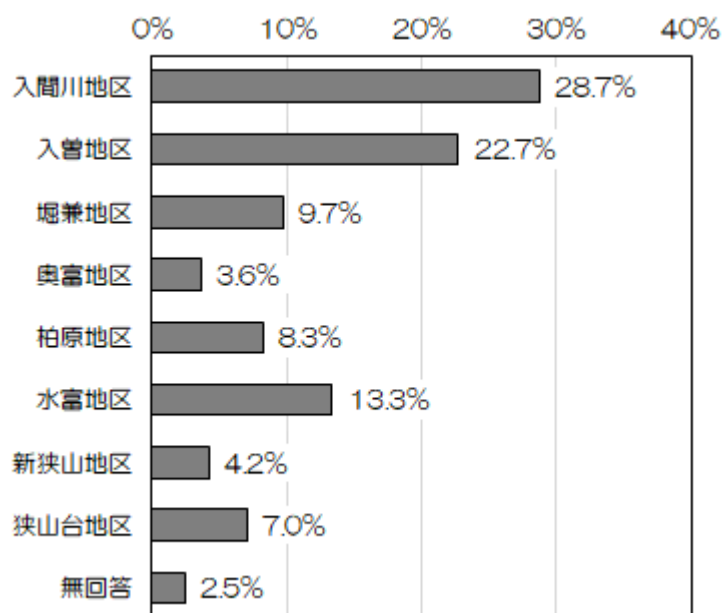
問1 性別



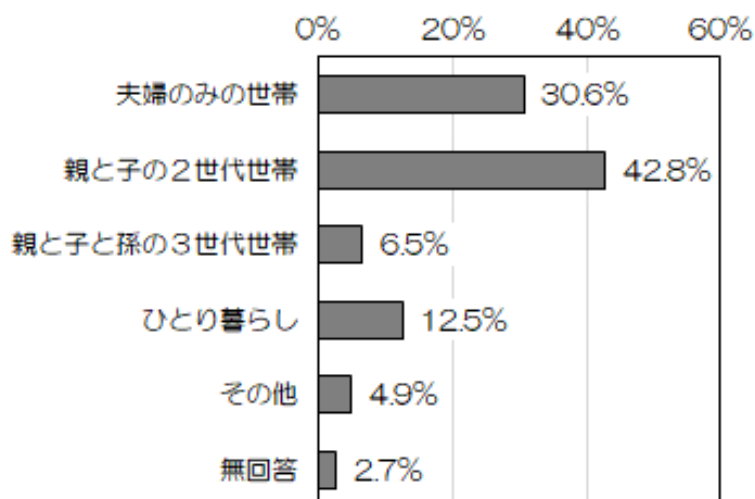
問2 年齢層



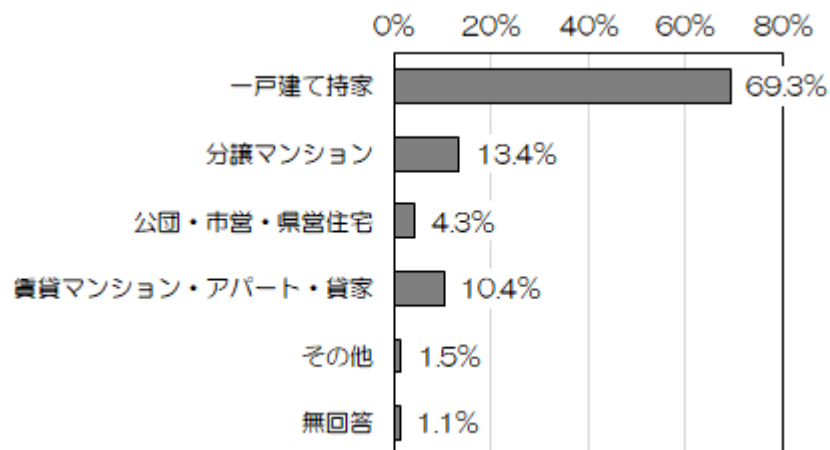
問3 お住まいの地区



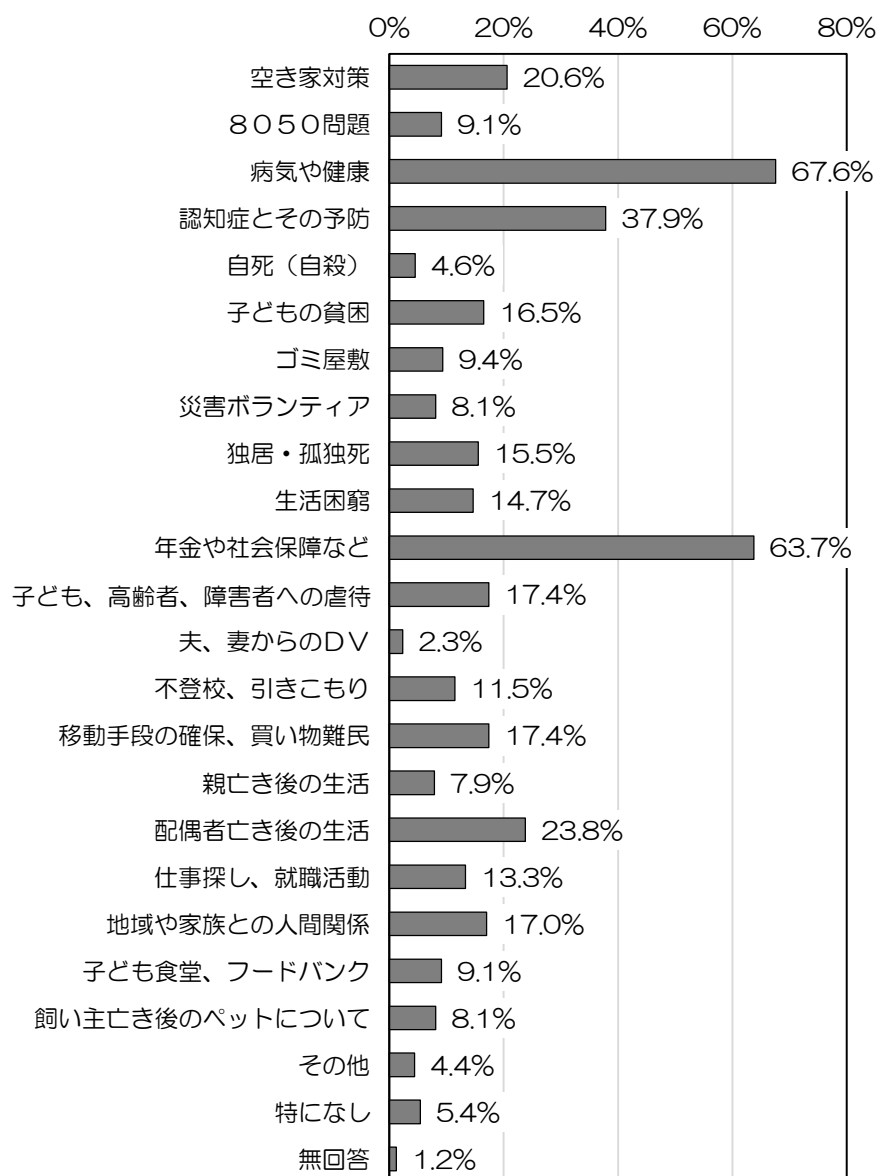
問4 家族構成



問5 住居形態



問6 関心のあるもの（〇はいくつでも）

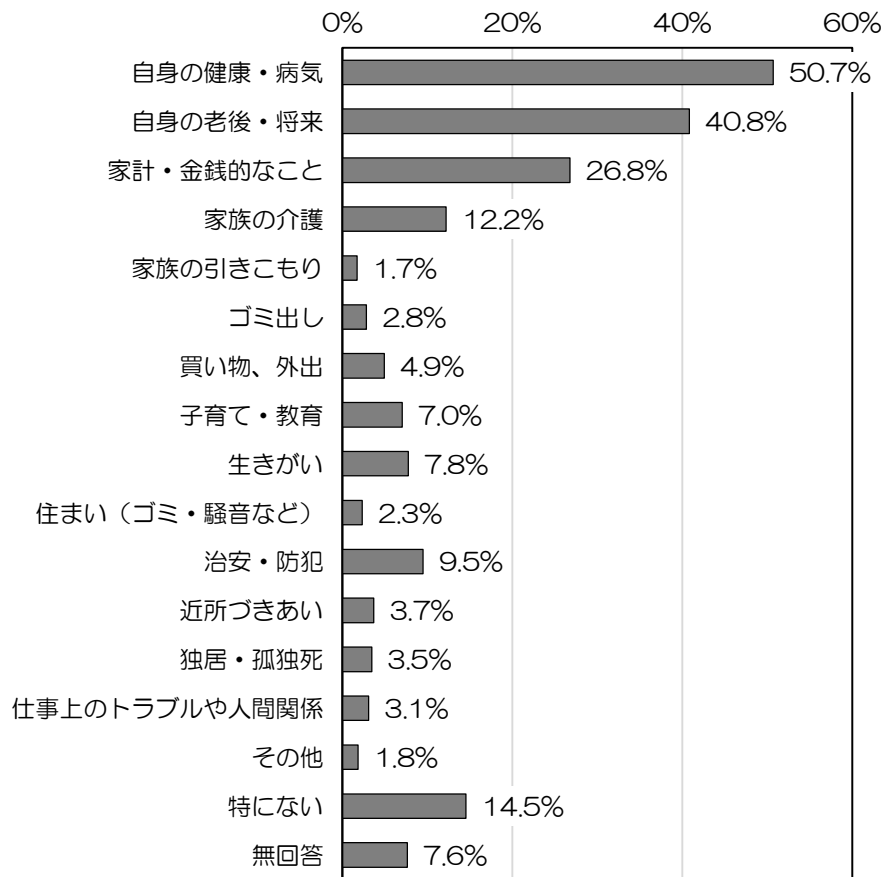


【その他の内容】

- 海外からの人々の狭山市実情（移民・定住等）、市の対応。
- 子供の貧困・不登校・引きこもり・こども食堂・フードバンクなどの実態を市民に知らせることが大事
- 私が死んだら息子が一人になるので、後のことが心配
- 入曽駅東口の駅前開発はどうなったのでしょうか？
- 10年近くアパートに住んでいるが、自治会からの連絡は一切ない。会費は払っているが。
- 近所の一人暮らしで、家の中がゴミだらけの上、大音量で音楽をかけて騒音が毎日のようにして困っている
- 車を運転できなくなった時の買い物や病院へ行く事など
- 高齢者の運転：逆走やアクセルとブレーキの踏み間違い
- 地域のコミュニケーション
- 障害者雇用
- 野良猫対策
- 年金支給額が刻々と減少する問題
- 高齢者が集まれる施設の充実
- 75歳以上の医療費負担
- のらネコなど「ふん」に困ってます
- 子供の学校
- 子供の遊び場、その環境
- 引っ越し
- 事故、事件の被害者支援
- 保育園待機児問題
- 災害がおこった際の生活
- 国の税金の使い方
- 発達障害児への対応
- 老老介護
- 詐欺
- 農地の今後
- 治安
- ゴミ集積所
- 災害、野焼き
- 税金

(2) あなた自身が抱える「悩み・不安」に関すること

問7 暮らしの中で、あなた自身やご家族のことで、どの様な「悩み・不安」がありますか（〇は3つまで）



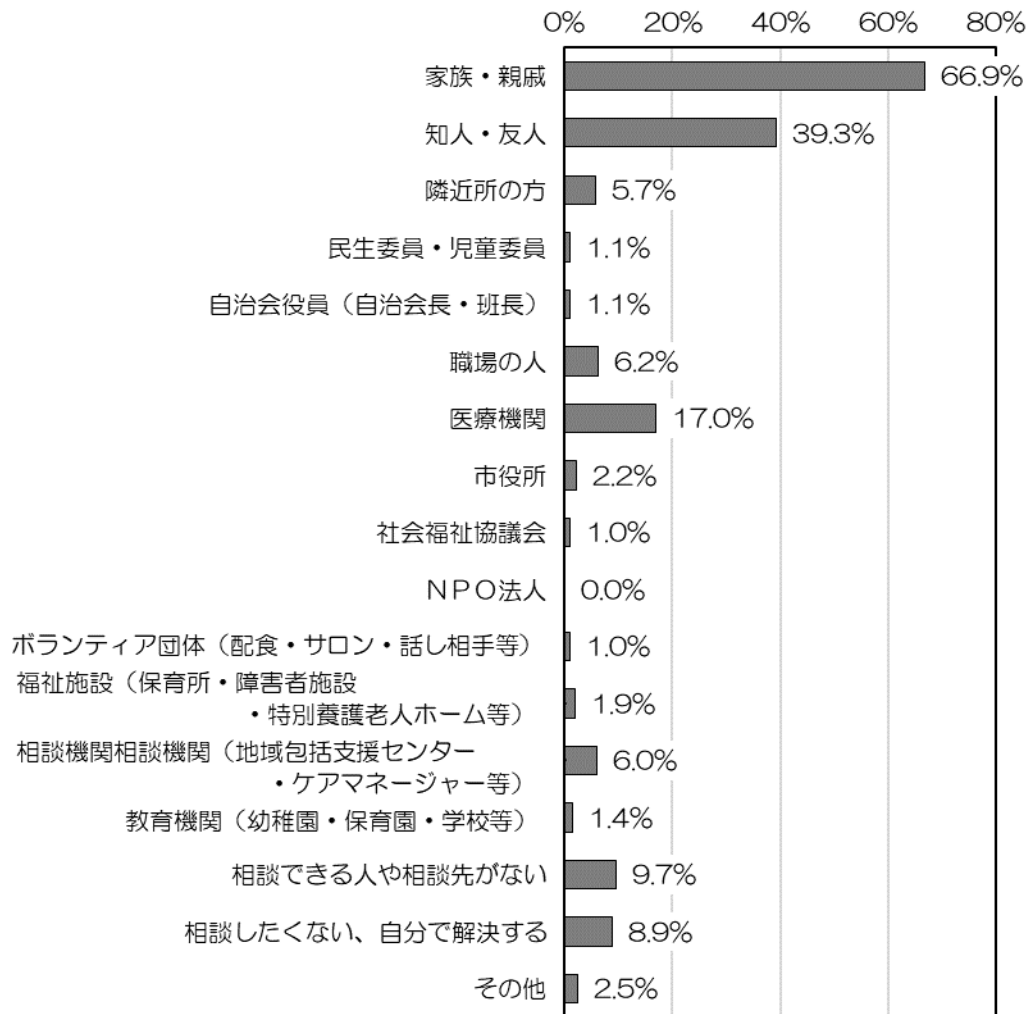
【その他の内容】

- ・自分が動けなくなったとき食事が造れなくなったらどうするか
- ・私が先に逝去した場合、妻のことが心配（認知症）
- ・年金支給額の変更
- ・自身の介護
- ・天井の雨漏り
- ・農地の今後
- ・障害を持つ息子のこと
- ・家族の将来
- ・交通の便
- ・遠くの親の介護

「健康・病気」(50.7%)、「老後・将来」(40.8%)が高い。

※前回調査でも「健康・病気」(49.4%)、「老後・将来」(46.7%)と同様の回答が上位である

問8 その「悩み・不安」について、誰に相談されていますか（〇は3つまで）



【その他の内容】

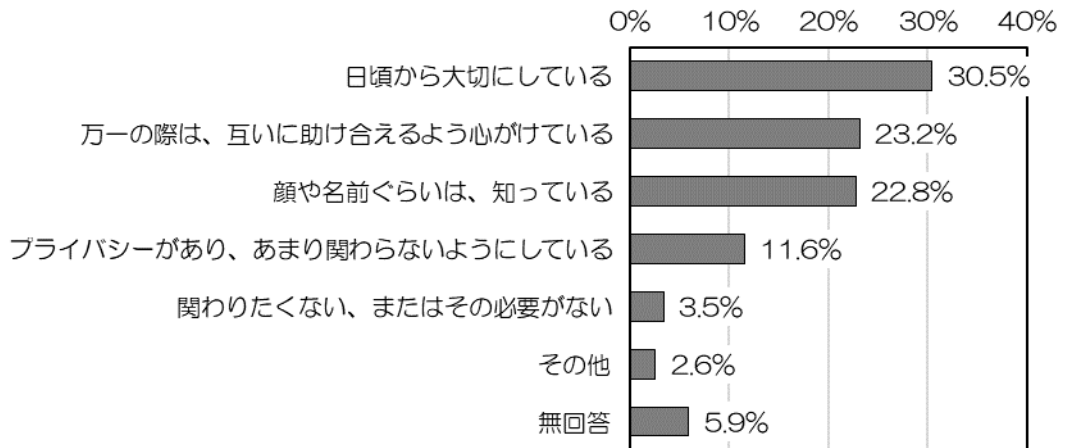
- ・特に今困っていないので相談はしていない
 - ・誰に言えばよいのかわからない
 - ・まだ相談していない
 - ・誰も悩みを持っている
 - ・管理会社
 - ・相談員は知っているが動けていない
 - ・配偶者
 - ・特に無いが、自然死
 - ・相談先がわからない
- まだ相談するレベルでない

「家族・親族」（66.9%）が高く、次いで「知人・友人」（39.3%）である。一方で、「相談できる人や相談先がない」（9.7%）、「相談したくない、自分で解決する」（8.9%）もあり、合わせると（18.6%）である。

※前回調査では、「家族・親族」（57.3%）「知人・友人」（30.1%）で、「相談できる人や相談先がない」と「相談したくない、自分で解決する」を合わせると（16.4%）である

(3) 近所づきあいに関すること

問9 「ご近所づきあい」について、あなたの考えに近いものはどれですか



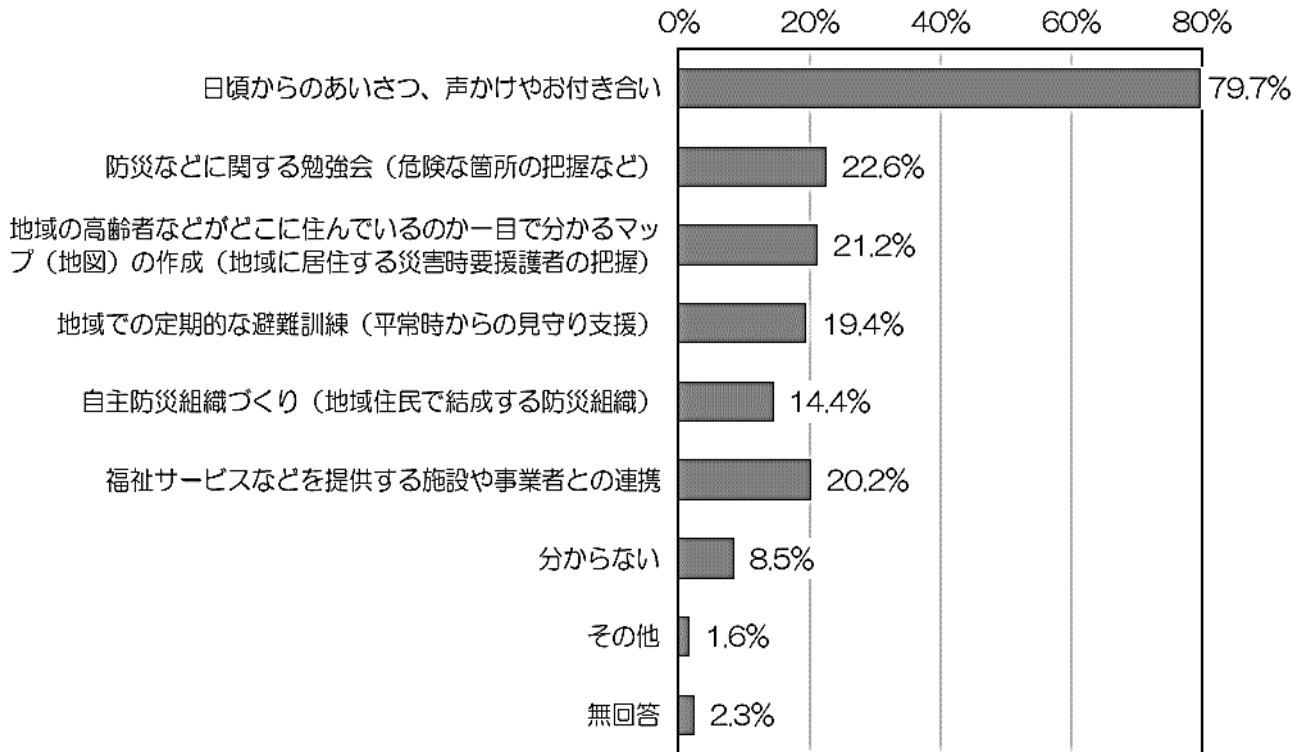
【その他の内容】

- ・意識していない、逃げているわけではないが結果的には関わりはない
- ・災害時に機能する施設や団体、サービス等を解り易くまとめた資料の配布等周知の徹底
- ・近所の人の名前も顔もわからない、いざという時は誰にも助けてもらえない状況になりそう
- ・引越してきたばかりでまだ関係が築けていない。
- ・隣近所は知らない人ばかりのため、声かけづらい
- ・あいさつ程度
- ・昔から障害者活動をしていた
- ・移住1週間なので全てこれからです
- ・ほぼ家にいない
- ・クレームが多すぎる
- ・関わる機会がない
- ・関わっている人とそうでない人がいる
- ・民間人が周りにいない
- ・引っ越して間がないので
- ・転居して日が浅いのでまったく不明
- ・全くないが、近所のそう音がきになる
- ・特に考えた事は無い、普通
- ・積極的には関わっていない
- ・特に考えた事は無い、自然
- ・あまり関わることはない
- ・見て見ぬふりをしている

「日頃から大切にしている」(30.5%)、「万一の際は、互いに助け合えるよう心がけている」(23.2%)が、合わせて半数を超えて(53.7%)いる。反面、「プライバシーがあり、あまり関わらないようにしている」(11.6%)、「関わりたくない、またはその必要がない」(3.5%)も、合わせて一定数(15.1%)ある。

※前回調査では、「日頃から大切にしている」(28.3%)、「万一の際は、互いに助け合えるよう心がけている」(26.7%)が、合わせて半数を超えて(55.0%)いる。反面、「プライバシーがあり、あまり関わらないようにしている」(10.0%)、「関わりたくない、またはその必要がない」(2.7%)も、合わせて一定数(12.7%)ある

問 10 「災害時住民が支えあう地域づくり」に、何が重要だと思いますか
 (〇は3つまで)



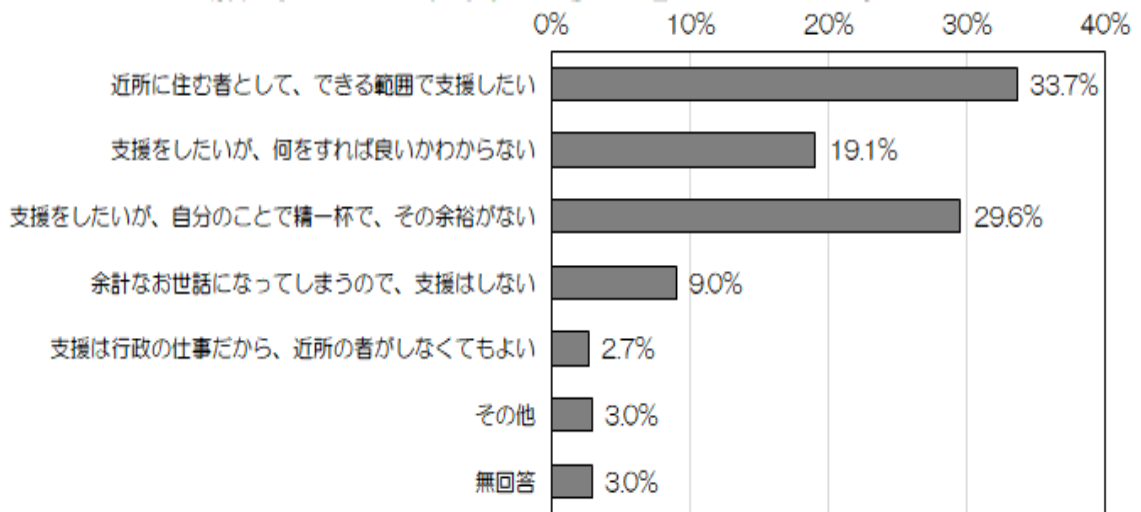
【その他の内容】

- ・日頃から地域のイベントや清掃活動を行う事で互いを知り、近い存在になる
- ・近所付き合いを大切に、どんな人が住んでいるのかを知るのが大事
- ・ペットがいる家はどこに行けばよいのか、家族と同じ命のため
- ・皆でやる共同作業（ex. お祭り、サークル、ボランティア）
- ・防災グッズ・非常食の地域ごとの常備
- ・老人は、歩くのが大変で避難できない
- ・勉強会の内容等共有（広報などで）
- ・移住後短いのでこれからと思います
- ・避難所を作ること
- ・情報の提供
- ・必要ない
- ・人を思う気持ち

「日頃からのあいさつ、声かけやお付き合い」(79.7%)が高く、次いで「防災などに関する勉強会（危険な箇所の把握など）」(22.6%)、「地域の高齢者がどこに住んでいるのか分かるマップの作成」(21.2%)である。

※前回調査では、「日頃からのあいさつ、声かけやお付き合い」(79.4%)「地域での定期的な避難訓練への参加」(31.0%)、「防災などに関する勉強会（危険な箇所の把握、災害ボランティア養成など）」(20.1%)が上位であった。

問 11 仮に、ご近所で身の周りのことや家事等に課題を抱える方がいた場合の解決方法について、あなたの考えに近いものはどれですか



【その他の内容】

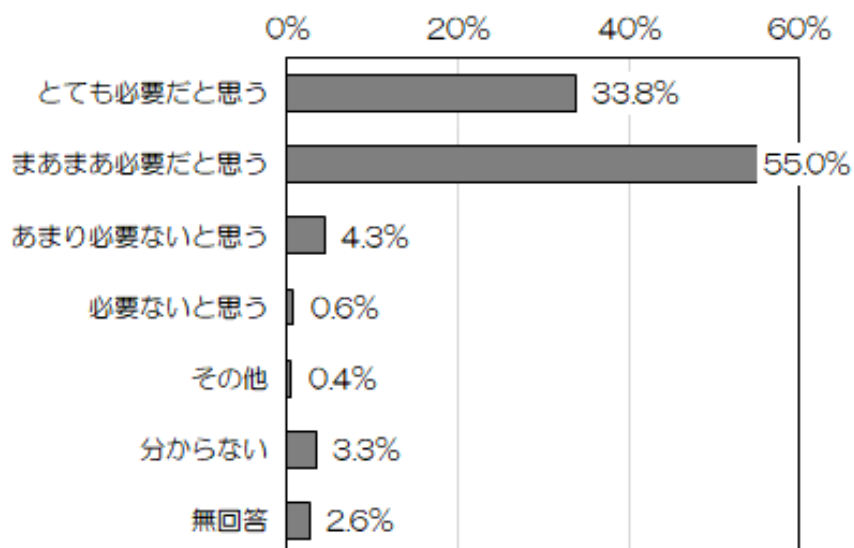
- ・ 求められれば、できることは支援したい
- ・ 支援は行政の方に間にはいってもらった方が良いと思う」。近所の人間同士だとその上で、できることは支援したいと思う。
- ・ 高齢なので御近所さんが心配して呉れている
- ・ 近所の出入りが激しいので、分からない
- ・ ご近所は長い付き合いなので深入りしない方が良い
- ・ 5に近いが近所の者がしなくてもよい、という訳でもない。当事者のニーズ（何が困っているか、本当に困っていること、支援が必要でないこと）のきまりや整理は行政や福祉がしてほしい。
- ・ 親切にした後、なれなれしく生活にふみこんでこられたら迷惑になる
- ・ 時々1人暮らしの方に心がけて、電話をしています
- ・ 支援したいが負担に感じられるといけないので、まずは声かけから始める
- ・ 支援の内容に合った報酬で考える、ただし、私自身が今体調不良で…
- ・ 頼まれ事による
 - ・ 相手から相談があれば支援する
- ・ 支援する余裕がない
 - ・ 民生委員に相談
- ・ 行政との情報共有
 - ・ 家族全員が病気で病院通いである
- ・ まず包括に相談する
 - ・ 求められたら支援する

「近所に住む者として、できる範囲で支援したい」（33.7%）、「支援したいが、自分のことで精一杯でその余裕がない」（26.9%）が高い。また「支援をしたいが何をすれば良いかわからない」（19.1%）である。

※前回調査では、「支援したいが、自分のことで精一杯でその余裕がない」（29.0%）、「近所に住む者として、できる範囲で支援したい」（27.2%）が高い。また「支援をしたいが何をすれば良いかわからない」（22.7%）である。

(3) 地域活動への参加に関すること

問 12 地域のつながりの必要性について、あなたの考えに近いものはどれですか



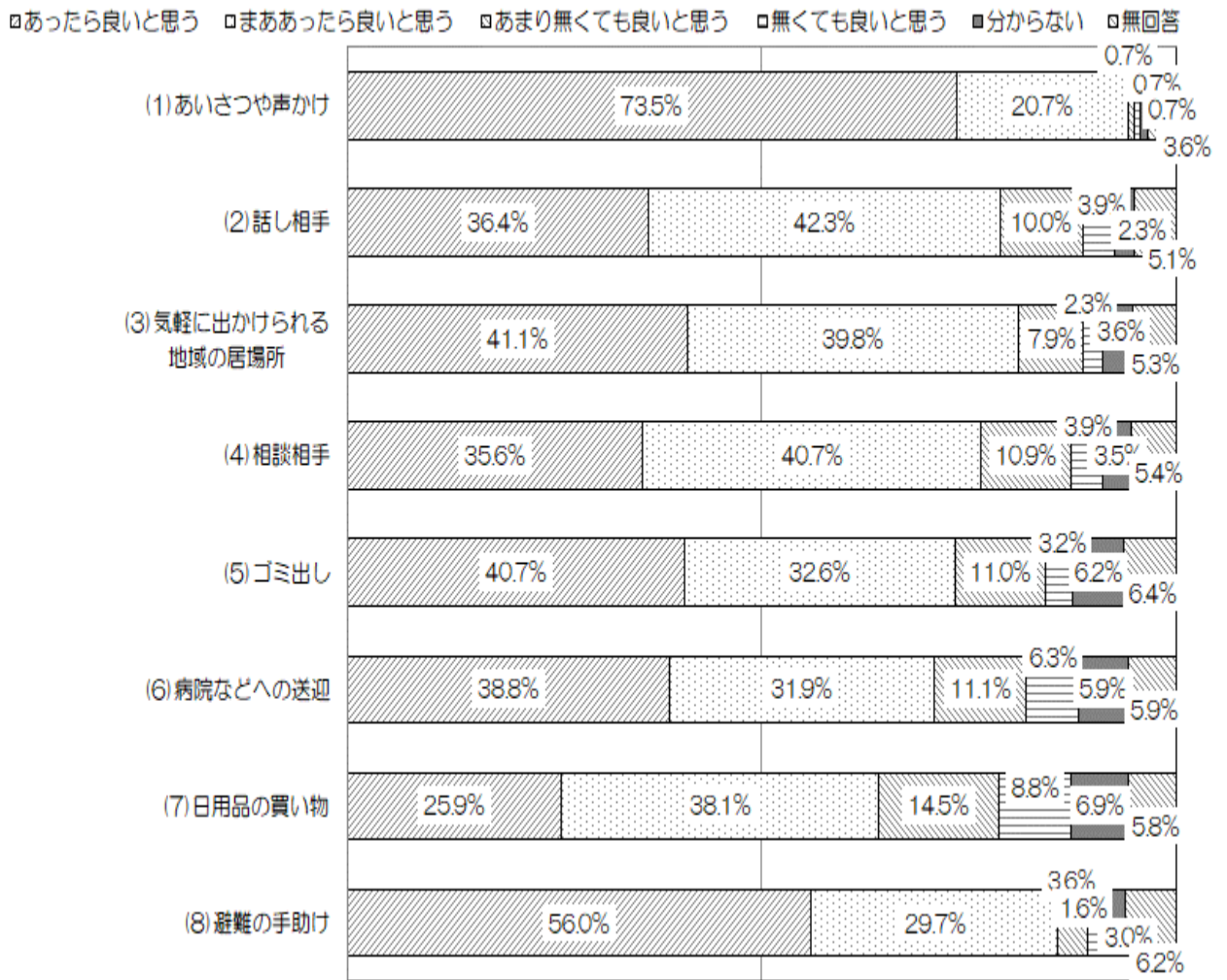
【その他の内容】

- ・繋がろうとしないのが多数なのでしない

「とても必要だと思う」(33.8%)と「まあまあ必要だと思う」(55.0%)とを合わせて、大多数(88.8%)を占めている。

※前回調査でも「とても必要だと思う」(29.2%)と「まあまあ必要だと思う」(60.8%)とを合わせて、大多数(90.0%)を占めている。

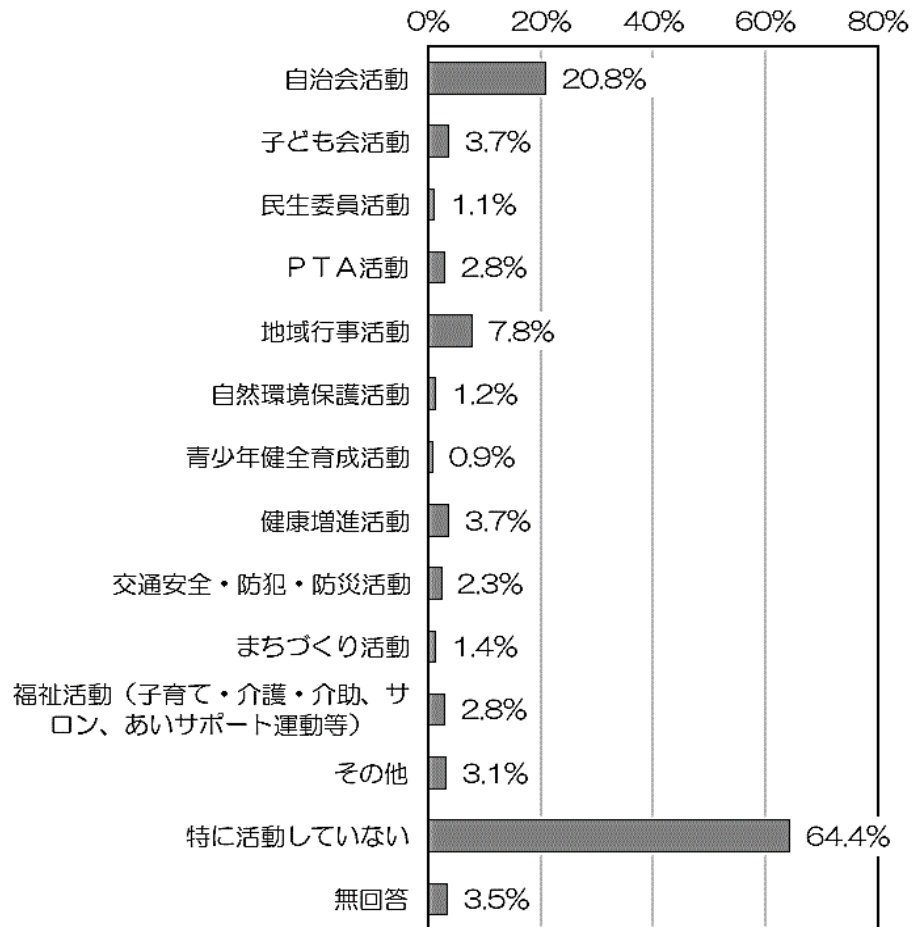
問 13 地域での住民相互の支え合いとして、必要なものについて、あなたの考えに近いものはどれですか



「あったら良い」が高い項目は、(1)挨拶や声かけ、(8)避難の手助け、(3)気軽にでかけられる地域の場所、(5)ゴミ出し、(6)病院などへの送迎である。「まああったら良い」も含めると、「日用品の買い物」(64.0%)以外の各項目で70%を超える。

※前回調査では、「あたら良い」が高い項目は、(1)挨拶や声かけ、(8)避難の手助け、(5)ゴミ出しである。「まああったら良い」も含めると、「日用品の買い物」(55.8%)以外の各項目で65%を超える。

問 14 あなたは現在、地域の支え合いを高めるような活動（地域活動）をされていますか（〇はいくつでも）



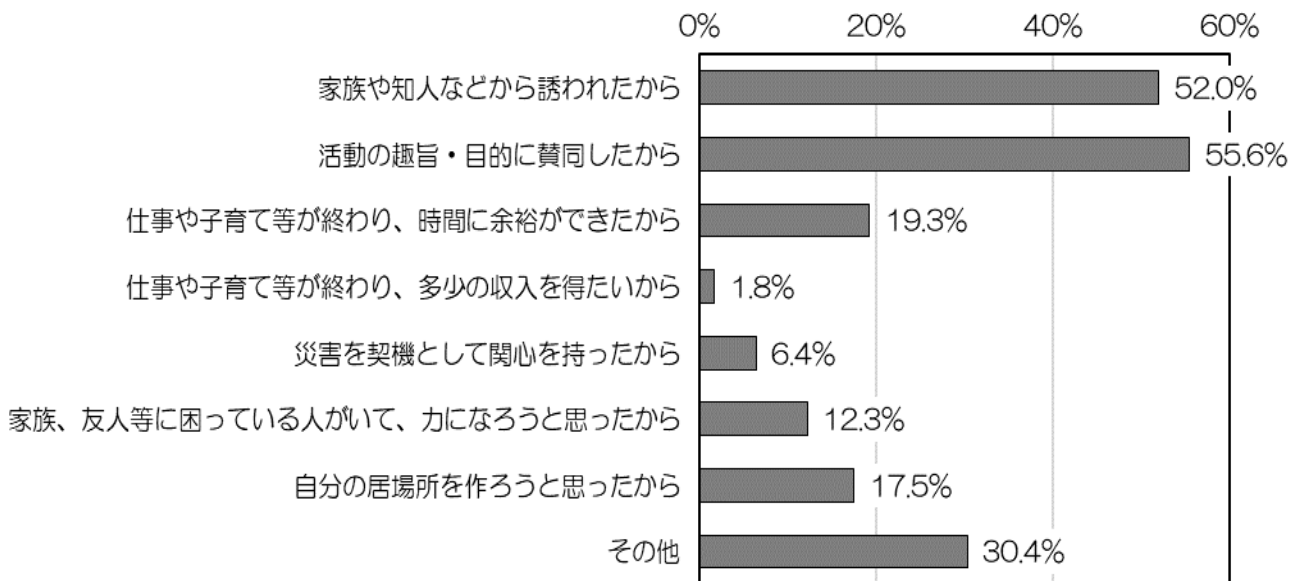
【その他の内容】

- ・実家での介護なので地域ではしていないになるかもしれません
- ・現在 40 年以上近所組合 16 世帯、会を作り、新年会、夏食事、旅行、忘年会を実行しています
- ・30年以上公民館のサークル活動に参加～仲間作り
- ・地域でのグランドゴルフクラブで楽しんでいます
- ・班長が廻って来た時、自治会活動は年齢的に無理です
- ・老人会役員
- ・隣家のゴミ出し
- ・グループ活動
- ・高齢のため
- ・被害者支援
- ・社協に週1回
- ・自治会活動になるべく参加している
- ・管理組合、スポーツサークル
- ・楽器演奏でボランティア

「特に活動していない」が一番高く（64.4%）、活動のなかでは「自治会活動」（20.8%）、「地域行事活動」（7.8%）が高い。

※前回調査でも「特に活動していない」が一番高く（63.9%）、活動のなかでは「自治会活動」（21.9%）、「地域行事活動」（7.1%）が高い。

問 15 地域活動を始めた動機（キッカケ）は何ですか（〇はいくつでも）



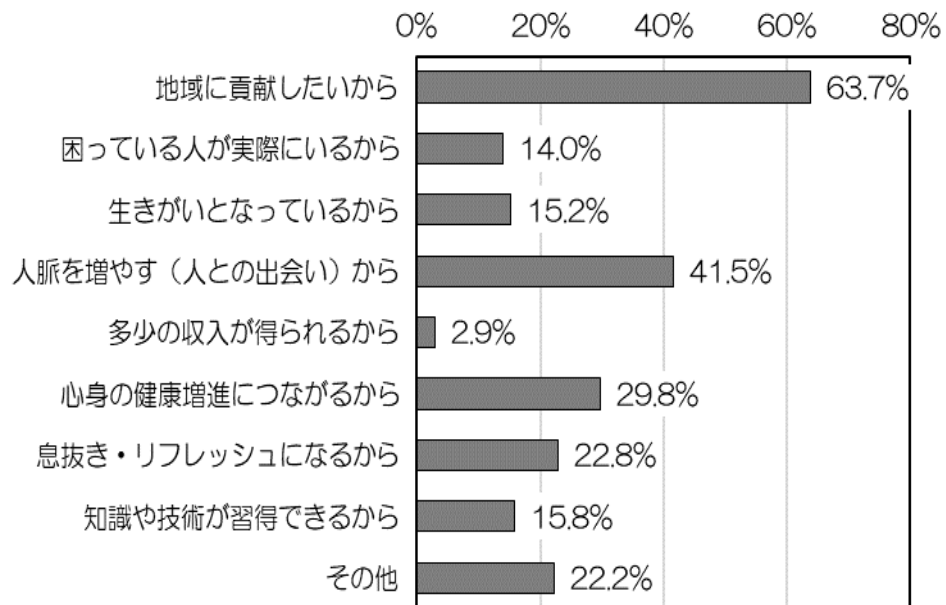
【その他の内容】

- ・自分の子供が小さい時から一緒に活動している
- ・自治会活動は半分強制のような感じなので
- ・引っ越した時点で自治会に入会の義務があった
- ・順番がきたから少しでも子供のことを知りたいから
- ・持ち家をもって生涯良い環境で暮らしたいと思い地域を大事にしたいと思う
- ・子どもがいるので、はぶかれるからやらなきゃ
- ・地域に早くコミュニケーションをとりたいので
- ・民生委員になり勉強する機会を頂いた
- ・地域環境を安全美化したいから
- ・当番制でその順番が巡ってきたので
- ・昔から陶芸をしたいと思っていたから
- ・最低限の御近所付き合いのため
- ・訪問介護の方に紹介された
- ・自宅マンション順番制のため
- ・自治会の役がまわってきたから
- ・昨年班長をしたから
- ・やることが決まっているから
- ・子どもが興味あるから
- ・活動する人がいないから
- ・マンションの中の担当
- ・ほぼ強制加入だったから
- ・歩くのが大変なので無理
- ・仕事に関連しているから
- ・役員をやってから

「活動の趣旨、目的に賛同したから」(55.6%)、「家族や知人などから誘われたから」(52.0%)が圧倒的多数である。

※前回調査では、「自治会などから声がかかったから」(49.0%)がほぼ半数である。次いで、「家族や友人に誘われたから」(16.9%)、「活動の趣旨・目的に賛同したから」(15.6%)である。

問 16 地域活動を続けている理由は何ですか（〇はいくつでも）



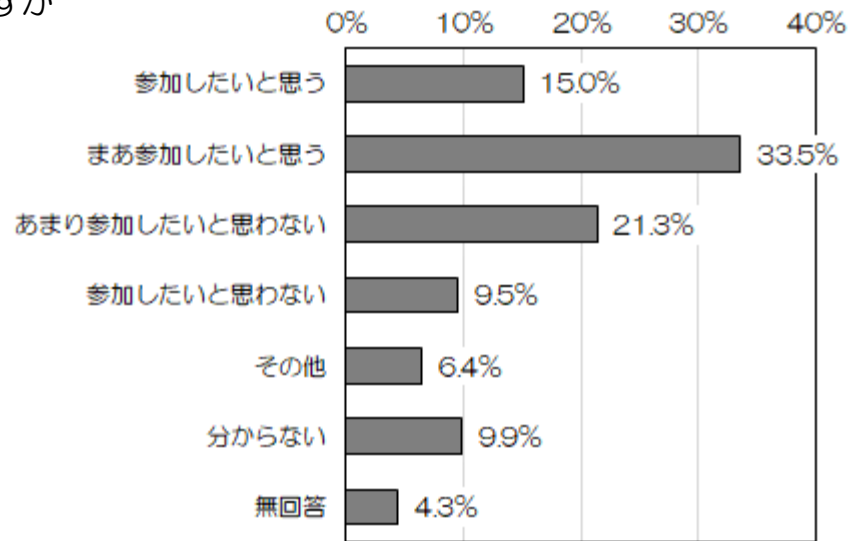
【その他の内容】

- ・引きこもりにならないように外出するため
- ・助けが必要な機会があるかもしれないから
- ・少しでも協力できたらと思ったから
- ・何でも話し合いの出来るようにしたい
- ・草刈りを全員でやっているから
- ・自宅マンション順番制のため
- ・近所に住んでいる人がわかるから
- ・近隣で分担して取り組む為
- ・昨年班長をしたから
- ・自治会に参加しているから
- ・子供のために
- ・任期があるから
- ・仲間がいるので
- ・当たり前のことだから
- ・近所の方々の付き合い
- ・義務と思っているから
- ・順番がまわってくるから
- ・子どもがいるので
- ・職業上出向
- ・活動する人がいないから
- ・当番制
- ・2年間は義務だから
- ・断れないから

「地域の役に立つから」（63.7%）が圧倒的に多く、次いで「人脈を増やす（人との出会い）から」（41.5%）、心身の健康増進につながるから（29.8%）である。

※前回調査では、「地域の役に立つから」（50.0%）が半数で高い、次いで「人脈を増やす（人との出会い）から」（21.9%）である。

問 17 今後地域活動への参加依頼があった場合、あなたは地域活動に参加したい
 と思いますか



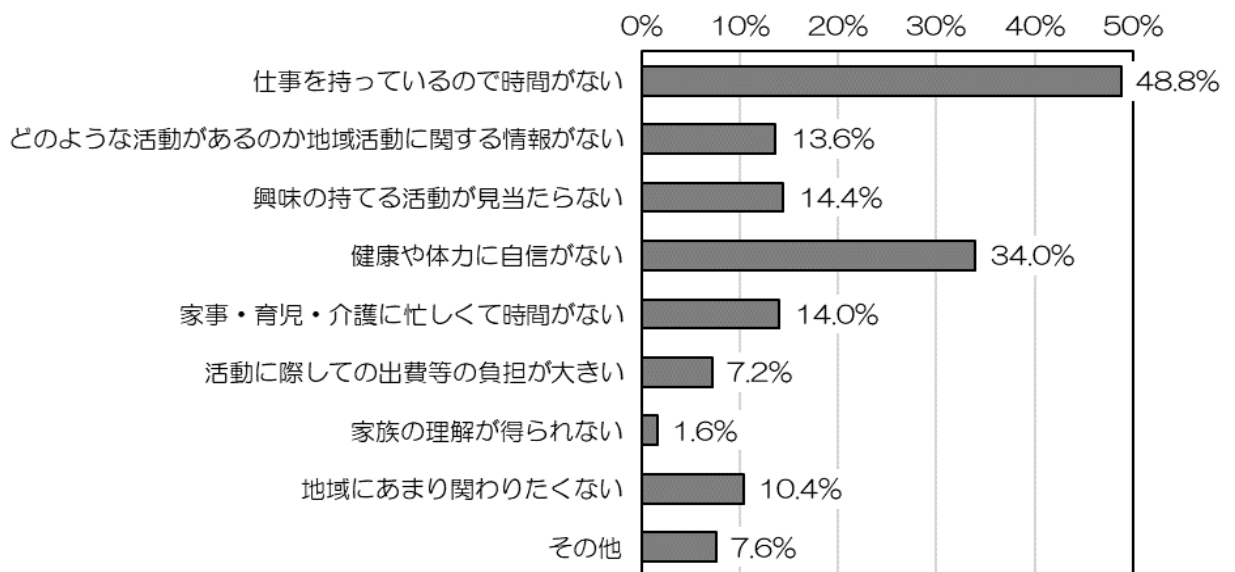
【その他の内容】

- ・フルタイムで働いており、参加したくても平日はできない。
 土日は幼子の面倒を見るためやりたくてもできないと思う
- ・高齢になってきて実際には気持はあるが身体が動かない。できる範囲の活動に留まる
- ・参加はしたいと思うが、今日休みの時間を使いたくない
- ・気持ちはあるが、家庭のことで今は余裕がない ・高齢ですので人の世話は出来ない
- ・時間とひまがあれば参加したいと思うが、参加したいと思わない
- ・私自身介護をしているので出来ない ・参加したいと思うが仕事と子育てで時間がない
- ・孫の世話で日々多忙のため参加出来ない ・配偶者の介護中のため出来ない
- ・病気持ちなので他人のために役立つ力はない ・強制されないと参加しないと思う
- ・参加したいと思うが、今は仕事と子育てで時間がない
- ・身体が不自由なので参加したい気持ちはありますが、出来ません。
- ・自分の事で精いっぱい年令的にも無理です（85才）
- ・足が悪いので、それでも活動できる内容であれば参加したい
- ・現状では無理だが、ゆとりができれば参加したい。
- ・日程の都合が良ければ、仕事が休みであれば。 ・老老介護で他の事は出来ない
- ・活動内容によりけり
- ・84才になって体が動かない
- ・高齢で身体的に自信がない
- ・出来ない
- ・内容によって参加したい
- ・参加出来る状態にない
- ・参加したいが精神的に無理
- ・出来る範囲で
- ・病気のため体調と相談しながら
- ・子供会が忙しい
- ・ほぼ留守
- ・病気で出来ない
- ・歩行困難のため
- ・高齢のため参加できず
- ・持病があるためできない
- ・報酬次第です
- ・今は高齢なので活動を中止した
- ・ルームシェア
- ・仕事が忙しくて余裕がない
- ・体調の許す限り参加したい

「参加したいと思う」(15.0%)、「まあ参加したいと思う」(33.5%)を合わせて約半数(48.5%)である。

※前回調査でも「参加したいと思う」(14.5%)、「まあ参加したいと思う」(33.0%)を合わせて約半数(47.5%)である

問 18 地域活動への参加をしたいと思わない理由は何ですか (〇はいくつでも)



【その他の内容】

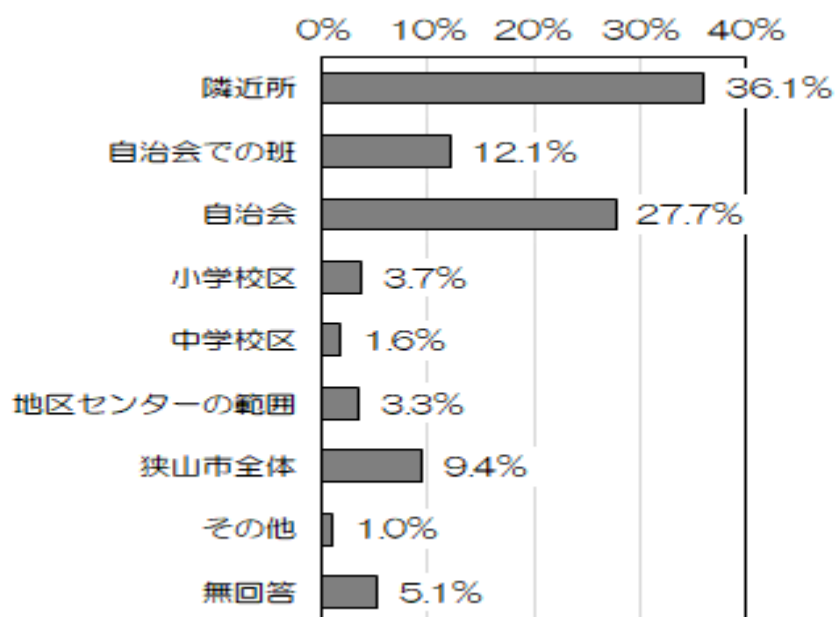
- ・誰でも良いとは言えない。人間関係が負担だ
- ・どのようなものがあるのか分からない
- ・家族の時間を大切にしたいから
- ・舌ガンの後遺症の為、思うように会話が出来ない
- ・休日等に、遠方へ行く事が多く地域に不在のため
- ・なんとなく
- ・転勤族だから
- ・時間を拘束されたくない
- ・活動の内容によるが、歩行困難
- ・休日は自分のために使いたい
- ・自分の用事があるため
- ・人が嫌いだから
- ・動ける状態ではない
- ・もう少し若かったらやります
- ・自分が他人の役に立つ状態ではない
- ・あまり興味がない
- ・終活に近いから
- ・高齢のため無理
- ・休日にやることが多い

「仕事を持っているので、時間がない」(48.8%)、次いで「健康や体力に自信がない」(34.0%)で、合わせて半数以上(82.8%)である。

※前回調査では、「仕事を持っているので、時間がない」(51.6%)が半数を超える。次いで「健康や体力に自信がない」(27.8%)、「興味のもてる活動が見当たらない」(20.2%)である。

(5) 身近に感じる「地域」に関すること

問 19 あなたにとって身近に感じる「地域」とは、どのような範囲ととらえていますか



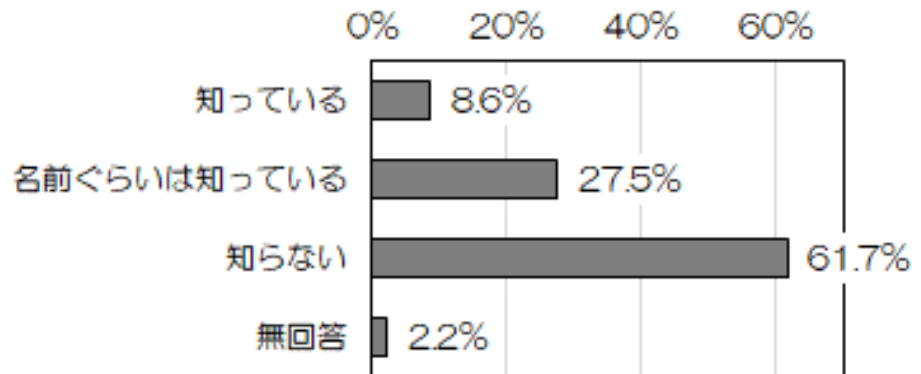
【その他の内容】

- ・埼玉県西部地域、
- ・医療機関など

「隣近所」(36.1%) が最も高く、次いで「自治会」(27.7%)、「自治会の班」(12.1%) である。

※前回調査は、「隣近所」(36.7%)、次いで「自治会」(22.7%)、「狭山市全体」(11.8%)、「自治会の班」(11.0%) である。

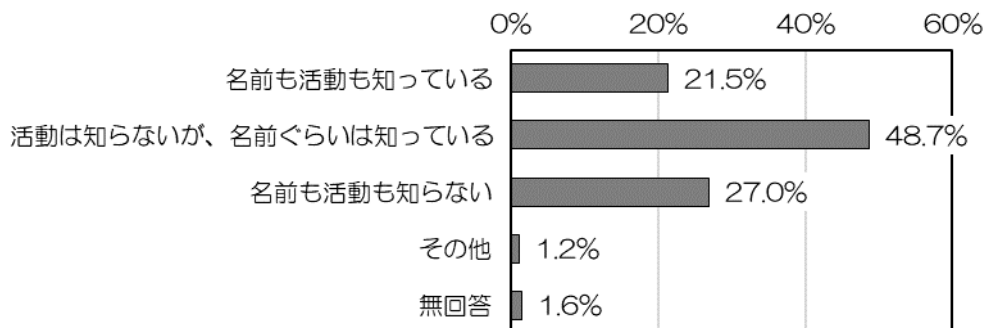
問 20 市と社会福祉協議会が策定した「狭山市地域福祉推進計画」を知っていますか



「知っている」(8.6%)、「名前ぐらいは知っている」(27.5%) 両方を合わせると 36.1%であるが、「知らない」(61.7%) が高い。

※前回調査でも「知っている」(6.9%)、「名前ぐらいは知っている」(27.1%) 両方を合わせると 34.0%であるが、「知らない」(61.7%) が高い。

問 21 あなたは、社会福祉協議会という名前や社会福祉協議会の活動を知っていますか



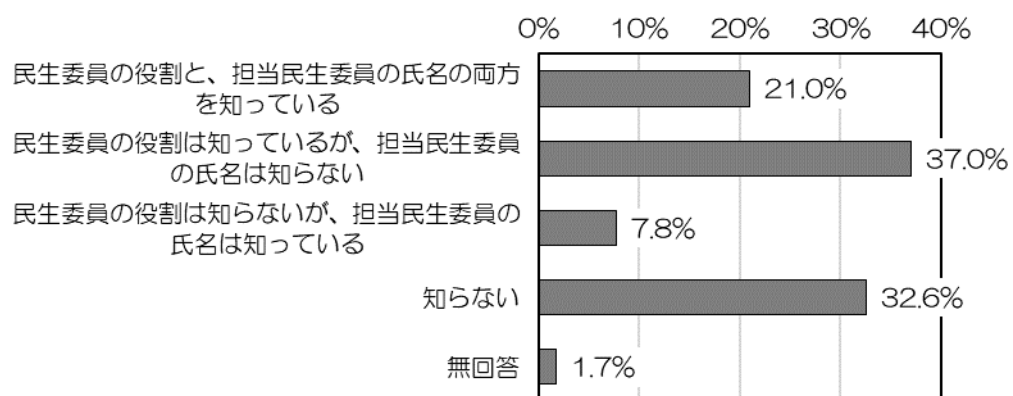
【その他の内容】

- ・若い頃、その中の介護事業所で在宅ヘルパーやファミリーサポートのボランティアの経験あり
- ・自身が宗教信仰の活動に参加している、
- ・緊急情報キットの販売

「名前も活動も知っている」(21.5%)、「活動は知らないが、名前ぐらいは知っている」(48.7%) 両方合わせると 70.2%である。

※前回調査では、「名前も活動も知っている」(24.0%)、「活動は知らないが、名前ぐらいは知っている」(48.0%) 両方合わせると 72.0%である。

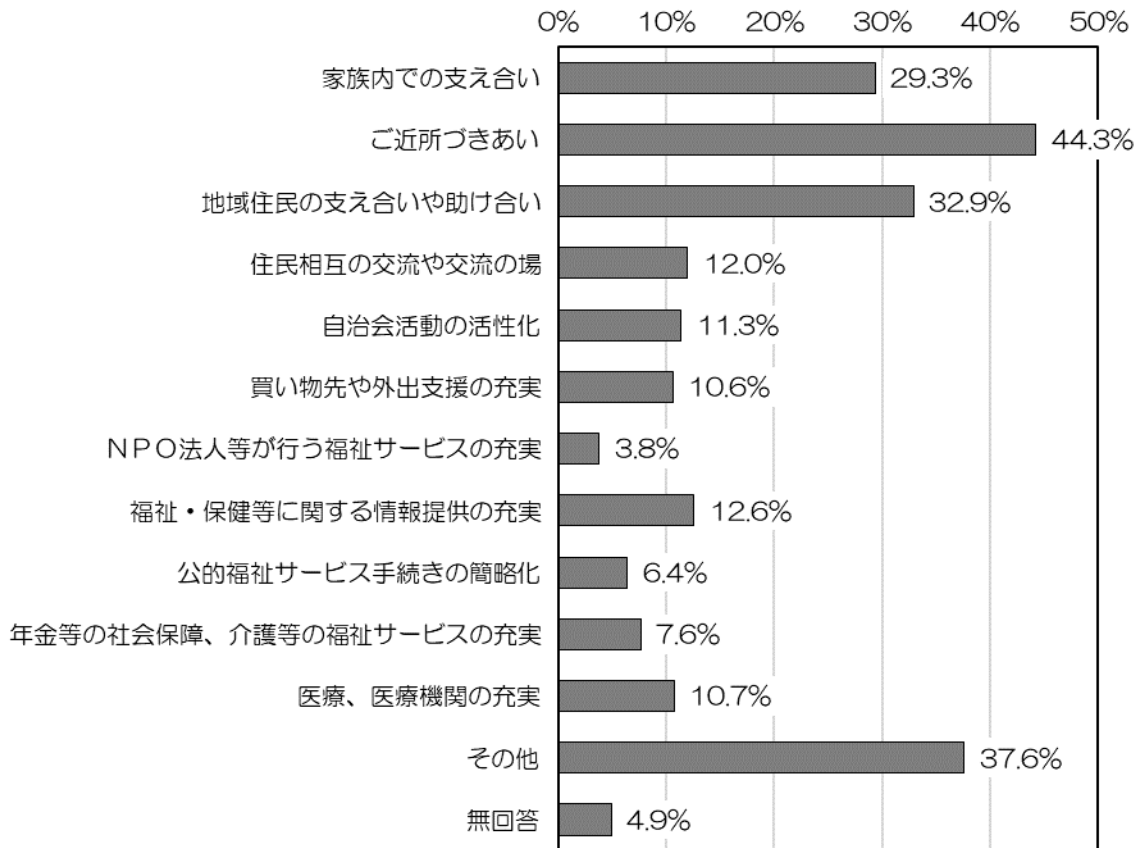
問 22 あなたは、民生委員の役割や担当民生委員の氏名を知っていますか



「役割と氏名の両方を知っている」(21.0%)、「役割は知っているが、氏名は知らない」(37.0%)、「役割は知らないが氏名は知っている」(7.8%)である。

※前回調査では、「役割と氏名の両方を知っている」(18.9%)、「役割は知っているが、氏名は知らない」(37.8%)、「役割は知らないが氏名は知っている」(8.6%)である。

問 23 暮らしやすい地域にするためには、何が必要だと思いますか
(〇は3つまで)



【その他の内容】

- ・市民が集まれるような施設の充実（公民館の充実）
- ・地震が多い国なので地震対策を最優先して欲しい。この地域は地盤が硬いが対策をしないわけにもいかないので1日も早く対策をお願いします
- ・役所が公権力を行使する勇気がない限りは地域が住みよくなることはありません
- ・行政（市）が福祉等の充実を考え、補助金等の予算も力を入れて出せるようにしてほしい。

そのためには、市政の見直し、不要な予算がないか？などが必要だと考える。

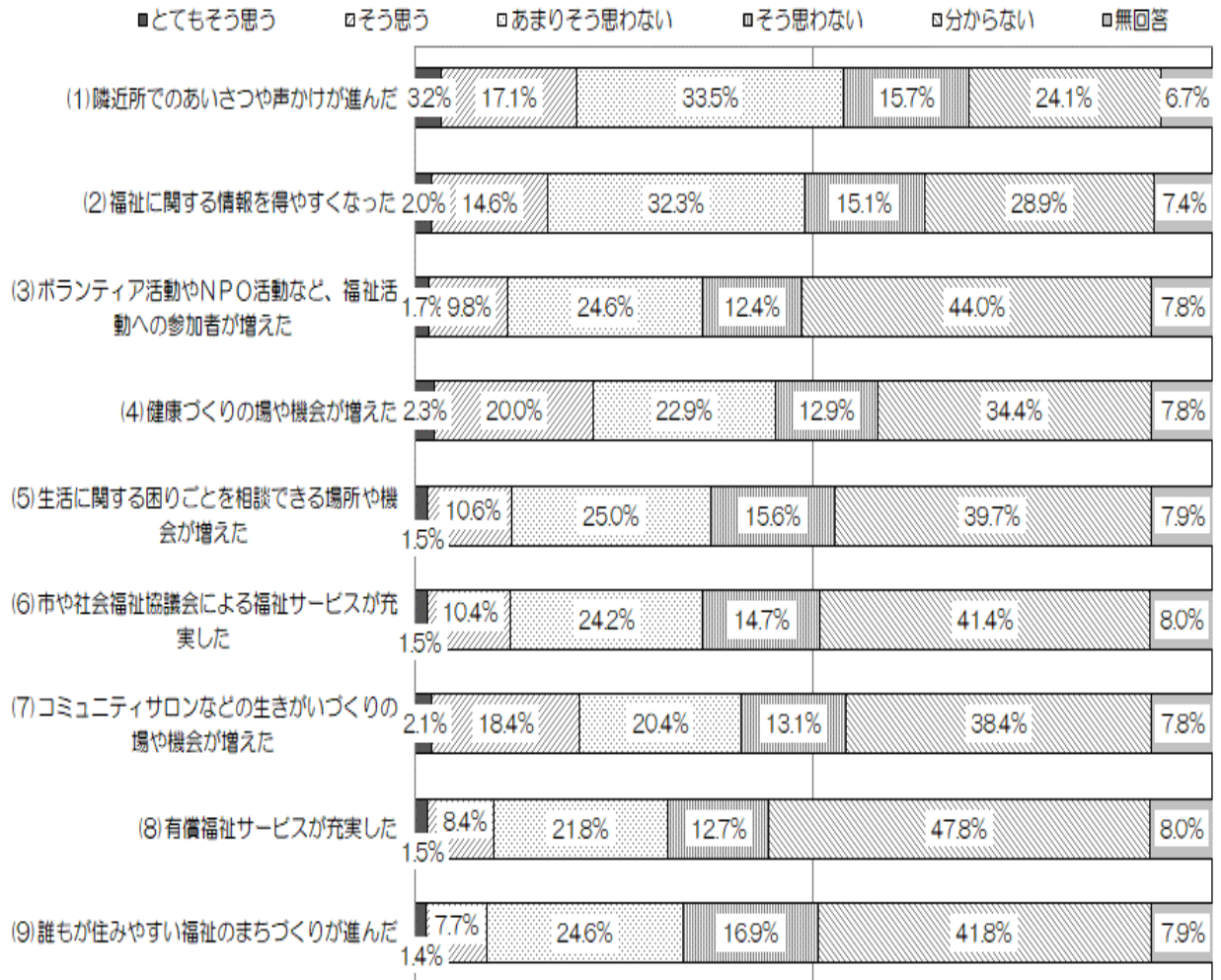
- ・自分が動けなくなったとき誰が食事を作ってくれるのか、配達をしてくれる人がいるのかそれが一番心配
- ・外出したくなる場所づくり（魅力ある）
- ・現状に不満はない
- ・インフラ整備
- ・治安、見回り
- ・子育て支援
- ・子供の学校の充実
- ・自然な支援
- ・治安
- ・わからない

「ご近所づきあい」(44.3%)が最も高く、次いで「地域住民の支え合いや助け合い」(32.9%)、「家族内での支え合い」(29.3%)が続く。

※前回調査では、「年金など、社会保障の充実」(40.7%)、「ご近所づきあい、住民相互の交流」(38.9%)が高く、「介護など、公的福祉サービスの充実」(32.7%)、「地域住民の支え合いや助け合い」(26.4%)、「家族内での支え合い」(26.3%)が続く。

(6) 地域福祉の進捗状況に関すること

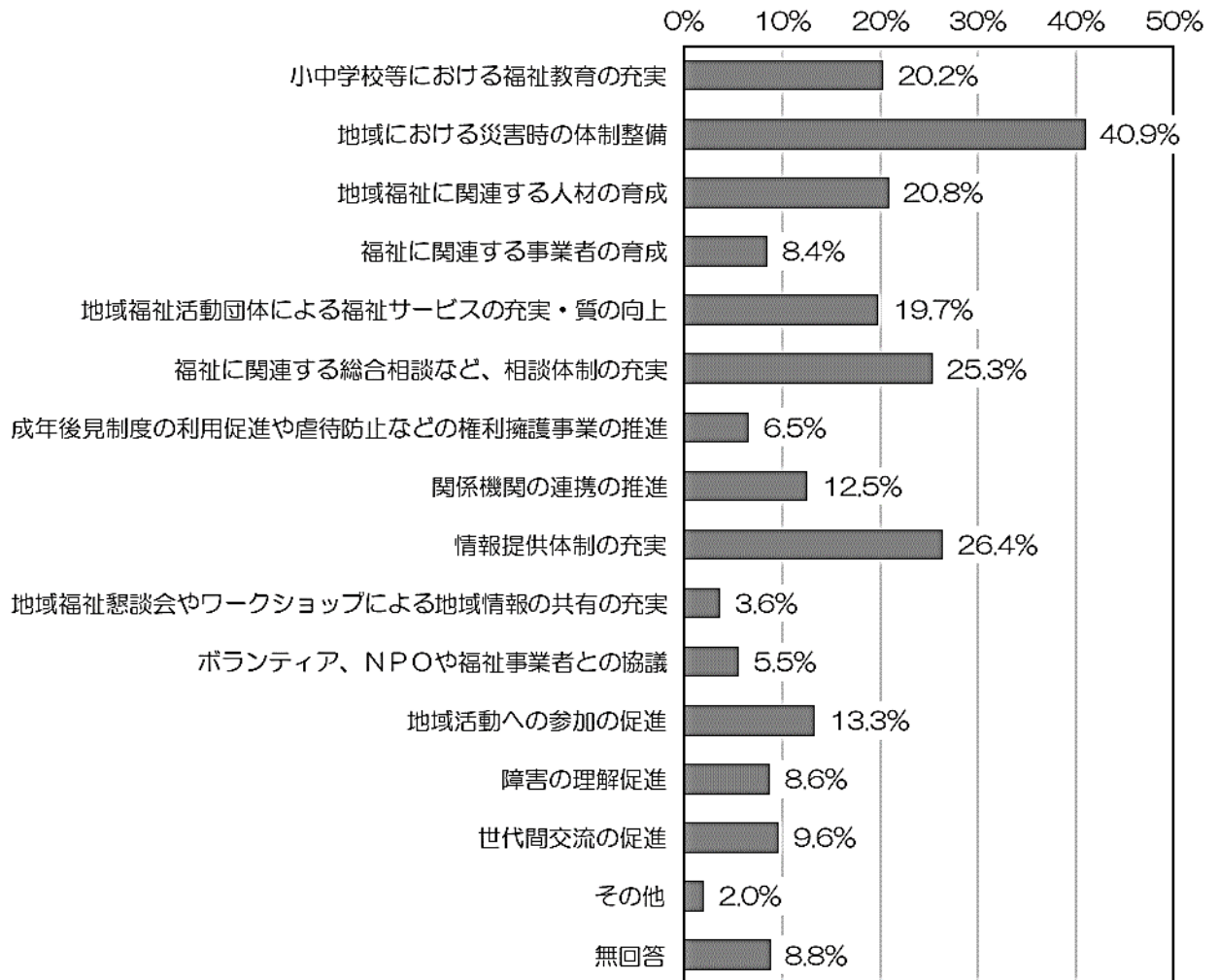
問 24 市と社会福祉協議会では、平成 27 年度からの地域福祉推進計画を策定し、地域住民・地域福祉活動団体・市・社協の協働による取組みを進めています。平成 27 年度から現在までの間に、次に掲げる取組みがどの程度進んだと思いますか



「とてもそう思う」と「そう思う」の両方を併せた高目の項目は、(1)隣近所でのあいさつや声かけが進んだ、(4)健康づくりの場や機会が増えた、(7)コミュニティサロンなどの生きがいづくりの場や機会が増えた、の3個の項目で、概ね 20%代である。全体的に「あまりそう思わない」、「そう思わない」が 33%~49%とかなり高い。また、「分からない」と回答した方も 28.7%~49.9%で高い。

※前回調査では、「とてもそう思う」と「そう思う」の両方を併せた高目の項目は、(1)隣近所でのあいさつや声かけが進んだ、(4)健康づくりの場や機会が増えた、(7)コミュニティサロンなどの生きがいづくりの場や機会が増えた、の3個の項目で、15%~18%代である。全体的に「あまりそう思わない」、「そう思わない」が 35%~48%とかなり高い。また、「分からない」と回答した方も (24.1%~47.8%) で高い。

問 25. 今後、地域福祉を充実させるために、市や社会福祉協議会が優先的に取り組むべきものは何だと思えますか（〇は3つまで）



【その他の内容】

- ・ 高等教育に載っているソーシャルインクルージョンの進展
- ・ 様々な形での積極的な情報発信 ・ 通院、買い物のための移手段の提供・充実
- ・ 団体自身をPOPなものにする事と広報活動 ・ PR—恐らく関心のある人しか知らない
- ・ 賃貸物件に一人暮らしをしていると福祉制度の変化や住環境の変化を知る機会はず
 口です ・ 取り組まなくていいので税金を減らす方がいい ・ あまりわからない
- ・ 分からない時は市役所に電話して聞いている ・ これが優先というものがない ・ 治安 ・

「地域における災害時の体制整備」(40.9%)が最も高く、「情報提供体制の充実」(26.4%)、「福祉に関する総合相談など、体制の充実」(25.3%)が続く。

※前回調査では、「地域における災害時の体制整備」(41.3%)が最も高く、「地域福祉に関連する人材の育成」(26.7%)、「情報提供体制の充実」(26.4%)、「福祉に関する総合相談など、体制の充実」(25.8%)、「地域福祉活動団体による福祉サービスの充実・質の向上」(25.4%)、「小中学校等における福祉教育の充実」(23.0%)が続く。

問 26 その他、「地域のつながりと支え合い」を高めていくためのご意見や、ご提案等がありましたら、ぜひご記入ください。また、アンケートの方法や内容等についてのご意見や感想等がありましたら、ぜひご記入ください。

《主な意見》

- 子ども達ももっと外で遊べる場所を作ってあげてほしい。その子供を大人が見守る。子供のころから家で遊び、他人との交流を持たないで育った子供が大人になった時に、他人を思いやる事が出来るだろうか。
- 福祉意識を高めていく場合、意識のない人を改善する必要がある。意識のない人はキッカケがないと変わりようがない。
- 子どもと大人が力を合わせて、もっと狭山茶のような味のある地域であってほしい。
- 年齢に関係なく、コミュニケーションがとり難くなっていると感じます。自分の意見だけが正しくて、他人の意見を聞こうとしないように感じます。
- 地域における福祉活動に参加させるには、もっと参加のアピールとか宣伝が欲しい。行われているのかも知れないが目に留まらないし、気が付かないように思う。
- 虐待事件やオレオレ詐欺などは、地域の力で防ぐことが出来るのではと考えております。特に、虐待防止は近所の目だと思います。
- 公共団体が積極的に地域の方を巻き込み、そこから住民同士のつながりだとかが生まれるようにしていくことが何よりも大事なことだと思います。
- 地域福祉を充実させるなら、知ってもらうことが第 1 である。
- 楽しめて地域のつながりと支え合いも高められれば良い。義務やいやいや参加する事なら、する意味がない。またビジネスと絡めることで参加者も増えると思う。
- 女性・高齢者・子どもなど相談窓口が別々になっており、困っている人が、自分に合う相談窓口へ行くにはパワーがいると思う。
- 福祉事業を支える人の数、人材育成に力をいれていかなければならない。
- 仕事をフルタイムでするようになり、地域や福祉のことを全く耳にすることも目にすることも、また、自分から知ろう（関わろう）とするとする時間もなくなった。
- 住民相互の助け合いは必要だが、全てそのような考え方に頼ることにしないで、先ずは自己で社会生活をすることにする考え方が必要である。
- あまり関わりをもつのを好まない人もいるので、どこまで他人のことに首を突っ込むか、難しいところである。
- 少しの気遣いと、出来る範囲の支援を無理なくであれば協力したいという気持ちはあってもボランティア登録までには至らないが、まずは身近なご近所付き合いを大切にしたい。
- 人間関係（近所付き合い）が希薄であって、災害時の避難所生活が苦痛になりそう。

詳細は、25ページ以降をご参照ください。

(7) 自由意見

問 26 その他、「地域のつながりと支え合い」を高めていくためのご意見や、ご提案等がありましたら、ぜひご記入ください。また、アンケートの方法や内容等についてのご意見や感想等がありましたら、ぜひご記入ください。

1. 福祉政策について

- ・ 現状を変えるならば外装から変えるべし
- ・ 市の取り組みを知れる広報誌があればよいと思う
- ・ 子ども達ももっと外で遊べる場所を作ってあげてほしい。その子供を大人が見守る。子供のころから家で遊び、他人との交流を持たないで育った子供が大人になった時に、他人を思いやる事が出来るだろうか。
- ・ 校庭の解放は絶対するべきです。以前は出来ていたのに残念。お金を使うなら、弱い人を守るために使ってほしい。
- ・ 自治会・包括支援センター・社協支部・民生委員・公民館等身近な団体の連携が大事
- ・ 令和元年 11 月 30 日で民生委員・児童委員の一斉改選があり、退任者が大勢いると聞いていますが、新任者が慣れて来るまでに相当の時間が必要と思います。そんな中で地域のため、是非社協のご努力に期待します。
- ・ 福祉意識を高めていく場合、意識のない人を改善する必要がある。意識のない人はキッカケがないと変わりようがない。古い考え方かと思いますが、掲示板に情報を掲示するとか、チラシ等を各家庭に配布するなどして取り組みやイベントを知らせて、キッカケを作ることが必要。
- ・ このアンケートで、「地域福祉推進計画」の存在を知りましたが、情報掲示は HP に掲載して終わりと思います。現行のままでは、意識の高い人にだけ効果があり、意識のない人には効果がない。自分はこのアンケートで意識を高めるキッカケを得られた。日常生活の中に目につくようにしてほしい。
- ・ 横や縦を踏まえた中での様々なイベント（皆さんがどれかに参加したくなるような）を催し、つながりを自然と持てるようにしてほしい。
- ・ シルバー世代が増えてきた今だからこそ、住みやすい狭山になってほしい。災害がなく、静かな地域であるが、子供と大人が力を合わせて、もっと狭山茶のような味のある地域であってほしい。
- ・ 学校の跡地はなんだかもったいない。動物を大切に出来る広場か何かできないでしょうか。子供は子供、大人は大人じゃなく、動物も含め、皆が協力すれば色々な事が上向きになると思う。
- ・ 暇を持て余している年配の方が多く見受けられます。年配の方に福祉活動の協力を得られたらよろしいのでは、生き甲斐があると、人間元気でいられるのでは。
- ・ 福祉とは何かと考える。高齢者・障害者・地域住民の生活向上…広範囲における分野につき一つ一つ細かく調査、分析、取り組みを行う必要があると思う。

- 煩わしく感じて人と関わるのをさけるようになるようです。つながりと支え合いを高めることに逆行しています。やはり、挨拶や、お元気ですかが大切で、地道にコツコツとしたコミュニケーションをとっていくことが大事ではないかと思います。
- 近所を見回しても高齢の独居者が多くなっている。狭山市全体として活性化がみられない。若い人達を優先し、住みよい環境も整え盛り上げて欲しい。老人は必要とされる知恵を分け、子供・若者・現役世代に希望を持たせて欲しい。
- 社会福祉活動のPR、ポスティング等、住民が情報を取りに行くのではなく、行政等からの発信。
- 今までと違うアプローチをして行かないと、今の時代には各家庭に情報が届かないと思います。興味・関心があっても情報が無ければ意味がありません。せっかく良い取り組みをしているのだから市民へ浸透できる様に頑張ってください。
- 街を歩くと高齢者の姿ばかりが目立つ、平均寿命も延び、まだまだ元気な高齢者が増えていくと感じる。老人は何もできない人たちという見方はもう時代遅れ、高齢者が活躍しやすい地域をいかに作るか、そういう時代になってきたと思う。
- 代々地元の人とそうでない人とのつながりが少ない。かといって他から来た人とは繋がりたいとも思わない。高齢者と若い人が関わるイベントがもっとあればよい。
- 保険センターから成人病の改善や老人の運動促進の指導がされるが、狭山市では老人やりハビリの施設が、サンパーク奥富しかありません。その施設を利用するため、新狭山駅から乗車していたお年寄りが利用出来なくなり、その運動と楽しみを奪ってしまっています。市の施設なのにコミュニティバスが無く、代わりに民間商業施設へ行くなんておかしいです。その施設には大型バスの送迎があります。
- 社会福祉協議会のニュースが自治会資料と一緒に配られてくるが、ほとんど読んでいない。読まないのは良くないが、読みたくなるようにアピールするのも大切であろう。
- 私は囲碁が好きで定期的に囲碁会に行く程度だが、特にご近所づきあいはない。地域における福祉活動に参加にしても、もっと参加のアピールとか宣伝が欲しい。行われているのかも知れないが目にも留まらないし、気が付かないように思う。
- 「地域のつながりと支え合い」も重要ですが、優先順位は「福祉の強化」ではないでしょうか。狭山市が全国一の「福祉の市になるためにはどうすべき」を推進するべきと考えます。→市と社会福祉協議会の方向性の再構築が必要だと考えます
- 福祉に関する情報提供体制と啓蒙活動の充実（分かりやすく）
- 狭山市民が、平等に福祉サービスが受けられる事を望みます。
- 行政の方達が思っている以上に、狭山市内は都会化していて、昔の様な近所づきあいなど求めても無理だと思います。これから起こりうる災害に対しても備えをしっかりと「家に居なくても（備えなくても）避難所に来れば大丈夫）くらいにしてもらえば、狭山市の行政に信頼度が高まると思います。
- 母子家庭、生活保護者の周りの方の話はいろいろで、良く調べてください。上手く利用している人の話を聞きます。
- 若い世代の方への、地域活動参加促進が必要だと思う。

- 独居の高齢者の見守りや、必要な福祉サービスが受けられるように、民生委員や行政が協力していく事が大切だと思います。子供への支援も、各家庭の事情もあるかとは思いますが、行政が力になれる事を行ってほしいと思います。
- 長くこの地域に住んでいますが、1度も支え合った事はありません。現代の日本は、昔に比べてかなり冷たく、交流を持たない人が多くみられます。先ずは、つながりを持つことから始めたほうが良い気がします。
- 現在、石心会しか頼れる病院がない。医療の充実を図ってほしい。賃金が低く埼玉（狭山）では働けないので東京に出ている。地域差を小さくして頂きたい。それ以外は全体的に住みやすいが、ゴミの回収をもっと充実して頂きたい。
- 人と人を繋ぐ楽しさを広めるには！
- 地区での祭りや行事を促進させる
- 独居の高齢者に、社協の活動をもっと教えた方が良いと思います。知らない高齢者の方がほとんどです！
- コミュニケーションが大切だと思います
- 社会福祉協議会が何をしているか、全く分かりません。もっと積極的な活動とアピールが必要だと思います。
- 介護事業所に勤務しています。利用者様の中で狭山市の福祉サービスを沢山利用し、生活を満喫されている方と、そうでない方の差が激しいです。→答えになっていなくてすみません。
- アンケートの内容は、すこし漠然とした感じで、答えが難しかったです。狭山市でも虐待事件やオレオレ詐欺など。地域の力で防ぐことが出来たのではと考えております。特に、虐待防止は近所の目だと思います。
- 自治会中心に交流の機会を計画する。住民の思いを考えている事を知る。バックアップシステムがとても必要である。自治会役員の新任・退任を記載して、住民に知らせる。
- アンケートにより、自分が関わっていない事に分からないことが多いことに気がきました。市の広報誌などは見ますがまだまだ無知でした。出来ればもっと情宣をお願いします。
- 他市で小学校の教員をしています。その学校では、子供や地域の方をつなげる活動をしています。（あいさつ運動や学校公開、感謝の会等）公共団体が積極的に地域の方を巻き込み、そこから住民同士のつながりだとかが生まれるようにしていくことが何よりも大事なことだと思います。今後も地域住民同士をつなげる架け橋として、子供から高齢者まで住みよい町づくりをお願いします。
- いざ、自身が福祉を必要とする場面にならないと、その必要性を感じる機会がなかなか無い。必要になった時に相談する窓口がハッキリしていることが、ポイントだと思う。
- 場所や機会を増やしたり、情報発信が充実しても、それに積極的に取り組める人ばかりではないと思います。そういう人々をとりこぼさず、つながり支え合うことができればと思う。
- まずは人が集まること。人気の道の駅やSA・PAなど自然に人が集まります。人が集まらなくては何も始まりません。魅力ある場所づくりからじゃないでしょうか？大型スーパーの

イスに一人で座っている年配の方をよく見かけます。光熱費の節約に加え賑やかさを求めに行くのではないのでしょうか？何かをやるのなら、人が「自然」に集まる場所でやることです。

- 関係者の皆様方は、日頃から活動を通してご参加頂いているものと思われませんが、日常生活をおくっている私達のもとに今一つ身近なものとして届いている実感が持てません。（活動や、相談窓口などが）もっと情報をわかりやすく開示して下さったら、有り難く思います。今後共よろしく願い申し上げます。気軽に支え合える町づくりを希望致します
- 各自治会に対して、地域福祉への関心度を高めて頂くことが重要だと思う。各自治会長だけではなく、その下部にいる少し若手の人たちにも、高齢者、障害を持っている方、子供のことなどの福祉に関する知識を与えて欲しい。社協の方々のご協力で少しずつ改善されているのも認識しております。有難うございます。2020年問題をもっと警鐘して「我がこと」としてとらえられるようお願いしたいです。
- 地域福祉に関するアンケートで改めて色々な事を考えさせられました。住みよい地域になる様に隣近所のあいさつや声かけが大切だと思います。
- 社協が地域福祉計画を策定5年目を迎えて、次の新しい策定作業に入るとのこと、埋もれている方々を明るい方向に向かわせることが出来れば幸いです。
- 地域福祉に関しては、市民のみんなが目に触れるように、解り易く興味を持つ様な情報提供（チラシ・貼り紙）をして頂いて、各々が上手く利用したり、参加できるような工夫があれば地域福祉も充実するのではないかと思います。
- 「地域福祉推進計画」と云うものがあることを初めて知りました。若い世代にもその様な政策・計画などの情報が行き渡るようにして行ったら、より一層地域福祉について関心が高まると思います。
- 地域福祉を充実させるなら、知ってもらうことが第1である。地元の中学・高校生に「社協の名前」をPOPで考えてもらう活動から始めてはどうか。
- 活動を広めるなら、大々的にやらないと情報過多の現代社会では気付いてさえもらえないならばYou Tube等の誰もが知るメディアで広報することが必要。
- 幼稚園児から老人まで幅広い世代の交流を深めるための行事・イベントなどを企画して一般人の参加協力を得るための方策を願う。いつも全員参加型の福祉活動があるとよい。
- こども食堂を充実して、狭山市から食事をできない子供をなくす。老人食堂もできたら欲しい。
- 「広報さやま」を大いに利用し、社会福祉協議会の紹介と活動及びその結果等を進めてみたらよい。
- 父が病気の際に、母が地域包括支援センターにお世話になりました。活動内容を良く知らなかったのですが、大変助かりました。狭山市も高齢化が進んでいます。子育て世代の増加が、将来的に市の財政を支えていくと感じますので、共働き家族への支援を積極的に行ってほしいです。一番納税している世代だと思います。子育てのしやすい街づくりによって、お年寄りも住みやすく安全な街になっていくと思います。狭山市で生まれ育ちましたが、これからも魅力のある街づくりを期待しています。社会福祉協議会の働きに感謝しています。
- 今後、温暖化の影響と思われる災害の発生が多発傾向にある事を懸念している。よって社協の方々も普段より各関連組織や自治体等と連携し情報を共有すると共に、災害発生時には

災害対策本部の一部署として避難状況（特に登録された高齢で独居の方）の把握に努めて頂きたい。

- 世代、性別、他あらゆる違いを超えて交流できる「場」がどんな地域にも必要と思います。世界中の人々がこの町にも行きたがっていますが、互いに通り過ぎるだけなんて、もったいないと思います。そういう「場」を作ってほしいです。
- 独居老人宅の訪問を定期的に行う
- 近年、急激に高齢化が進んでいると思います。家庭内に留まらずに、気軽に外出、他の人達と意見交換、又はゲーム等ができる施設を増やしてほしい。特に地域自治会へのバックアップの充実を図り、市民の交流を活発化して欲しい。
- イベントは土・日・祝日が休みの方が対象のため、平日休みの者は関われない感じだと思う。
- ディサービス送迎車は、空き時間に買い物、病院送迎等のサービスに関わってもらおう。特養や病院、大学等の食堂やホールの一部を一般開放するなど市民の集まる場と情報提供の場になるのでは。
- 月に1回でもよいので、定期的に安全確認をしてもらえたら心強いです。
- LINEのオープンチャットや狭山市モバイルサイトなどで、地域の情報共有が沢山できればいいなと思う。
- 高齢化社会への取り組みは、より必要となる、その費用の自己負担は増やすしかない。狭山市の人口減を止めるため、子育て世代への取り組みの充実も大切です。
- 人それぞれ考え方が違うので、一つの方向に皆を向けるのは難しいと思う。その為には、①ボランティアを有償にする／②法律、条令等で〇〇をしなくてはならないと決める、等が考えられる。今の時代、声をかけるだけで人が集まるという事はない。
- 小中学校も閉鎖的で、一貫のような感じで、子供たちが一度いじめに会ってしまうと、その環境がなかなか変えられず、不安と恐怖を抱えたままで卒業を迎えるまで、過ごさざるを得ません。友人関係の一新などがあれば少し違うのにと感じます。
- 今後、空き家が増える可能性があるため、空き家対策の充実と空き家が生じた場合、行政の対応が急務である。
- 台風が来た時に、学校の体育館が避難所になっていますが、うちは父が車イスで半身不随なので、トイレの問題や、横になれる場所が無いと思い、何があっても家に居るしかないと思っています。高齢者が多くなるこれからは、何か考えなくてはと思います。
- 祭など楽しめて地域のつながりと支え合いも高められればいいのでは。義務やいやいや参加する事なら、する意味がない。またビジネスと絡めることで参加者も増えると思います。そのためには「狭山市に何々あり」と全国的に知られるような何かがあるといいと思います。
- 幅広い「ノウハウ」を持った困りごとの相談受けや、（仮称…困りごとヨロズ相談窓口）：その困りごと専門家への紹介をして頂ける窓口があれば助かると思います。
- スポーツ大会の拡充（駅伝）
- 中高生の体験ボランティアなどがあればと思う。学校に募集案内などが配られれば、参加しやすいと思います。

- [6]の質問は重要ですから、困ったときのQ&Aをわかりやすく（80才以上の高齢者）でも分かるよう簡潔に各項目3つずつ位に書いて、〈表、裏〉困った時に常備しておいて、すぐ利用できるようにする。現状は市の広報から情報を得ていますが、量が多すぎます。もっと簡潔にすべきです。一番の問題は災害時の行動です。最大5項目位で。宜しくお願いします。
- ギブ&テイクの実践が必要だと思う。最初は一人だけの活動（歩道のごみ拾い、公園の清掃 etc.）から始めても良いと思う。多くの人々が嫌がる3K的なものを率先してやることにより、共感が得られると思うし、真の仲間づくりができると思う。
- 高齢化社会、少子化対策等多数の問題があるが、生活の基盤である自宅周辺や地域の問題を相談できる体制を充実させることが大切だと思う。
- 自衛隊に所属しているところから、近所づきあい等、あまり参加できる環境にありませんが、ボランティア等には積極的に参加したいと思っています。そのため、可能であれば、活動を行う際は事前に行うことを知る事が出来るアプリ等が欲しいと思います。
- 女性・高齢者・子どもなど相談窓口が別々になっており、困っている人が、自分に合う相談窓口へ行くにはパワーがいると思う。どんな困り事でも1ヶ所の窓口で受付けて、そこに相談員が来る。相談に来られない人には、訪問者が困り事をきく等、大げさすぎるくらい相談に対しての対応をした方がよいと思う。もしワンストップの相談窓口があったら、私も社会福祉士と介護福祉士と資格を生かして相談員をやってみたい。
- 適材適所に合った人材の育成、それに伴い、相談したい内容が、どの窓口に行ったらよいのかの判断が分かりやすい形での指針があればベスト。
- 民生委員の任期を守ってほしい、少々難のある方は、早く代わってもらえて年数が短くなる。多数の人が経験できれば認知度も上がる。民生委員の認知度が低すぎる。
- 民生委員について、担当の名前、連絡先等をどんな方法で公示しているのか、また、活動も見えない。
- 高齢世代への対応を考え直すべきである。個別訪問したり、連絡先・内容等を文書で告知すべきです。先ず、担当地域の把握を積極的に実施すべきでは。
- 市政・社会福祉へのご支援有難うございます。①狭山市の空き家等を市で買い取り、それを整備して高齢者（65歳以上）の交流を目的に会員制（500～1000円？/月）で提供するなど ②将棋、マーじゃんなど。③姉妹都市を追加して交流支援（津南（山）＋？（海））④家庭菜園エリア（場所）の増加と申し込みと指導等。
- 福祉関係の仕事をしている方は、東京都の方が給料が良いとのことで、都内まで通っている方が多いと思う。その点、狭山市内で福祉関係の人材を確保する為にも、市がバックアップして給料を保証し、狭山で働いてくれる人材を確保し、保証するなどを考えて欲しいと思います。
- 地域の中に一人暮らしの人が色々な人と話をしながら食事、お茶とかができる所あったらいいですね。
- 社会福祉協議会という名称すら明確には分かってはいません。広報誌などにもっと取り上げ、上記に示した様に情報提供体制を充実（そのつど決定された事）して、地域における災

害時の避難・体制整備など明確にもっと障害者にも分かるような情報提供も必要だと思います（広報誌などを通じて）。

- ・ 「地域のつながりと支え合い」ができる大人がいなければ、子供もまたいない。「それができる大人を作る」ことを目標としてアプローチする。実生活のメリットに直接つながることがあれば始めやすいので、免税がよいと思う。市の税収は減るが、「住みやすく生活しやすい狭山市」となれば人は集まり、結果として税収も増える。
- ・ 歩いて行ける所に交流出来るための場所がほしいです
- ・ 核家族化を防ぐ／二世帯、三世帯住宅への補助金／若者のUターンを進めるために地元企業への就職に対しインセンティブを与える
- ・ 子供時代に福祉やボランティアの重要性を指導する／地域の行事やボランティアに子供の参加を促す／世代間の交流の促進、特に高齢者と子供達の交流
- ・ 神社やお寺などにも福祉向上に協力してもらう
- ・ 公的な成年後見制度の実現
- ・ 日常的に目にする身体障害の紹介パンフレットの配布。又、障害者にどのように接したらよいのかなどの説明もあると助かります。
- ・ 小さな向う三軒両隣の近所くらいの単位で、それぞれの家庭や家族の相談、援助・見守りなど、ささやかな助け合い、支えあいのできるような体制ができればいいと思います。又、いつ起こるか分からない大きな地震に対しての、きめ細かな対策も急がれる課題かと思いません。
- ・ 若い方は SNS から情報を得ていることが多いので、若い人の関心の高そうな内容は、積極的に SNS で公開した方が良いと思う。折角、地域のために活動していても知らない事があるため、まずは SNS をフォローしてもらうための工夫が必要だと思う。
- ・ 福祉と言えはすぐ支援と感じる。行き過ぎると本来の人間が持っている能力を低下させ、やる気を無くす。（自立する努力をしなくなるのではないか）
- ・ 今の社会は弱い者を助ける、知らない事を教えると言う事が行き過ぎるのではないか。無から有を生み出す能力作りが必要と思う。苦しみ、そして楽しさを生み出す様に。それが福祉の様な気がする。
- ・ デスクワークばかりでなく、現場を見に、外へ出て直接住民と関わりを持って下さい。
- ・ いつ発生するかわからない大災害！災害大国なのに、いつも雑魚寝状態!! 障害者・足腰の弱い人から赤ちゃんまで、健康二次被害や安全性など…スフィア基準にどこまで近付けていけるのか 市・県などで連携しては、どうかよろしくお願いします。いざという時の支え合いや心配り、配慮がどこまで出来るのか、心配です。

*スフィア基準：『避難所運営ガイドライン』の中で参考にすべき国際基準

- ・ 高齢者福祉も大切ですが、将来の世代である子供たちの為に、小中学校を改善して欲しいです。小学校（小学生）が少ないという理由で約3kmも歩いて登校を要する事態は、悩ましいことだと思います。（防犯上の観点においても）
- ・ 福祉事業を支える人の数、人材育成に力をいれていかなければならないと思う。また、そのためにも、働く人の給料が安定して、安くてはいけないと考えます。それゆえ、市政で力

を入れて取り組んでほしい。狭山市で最後まで安心して暮らしたくなるような市政に取り組んでほしいです。

- 自治会を通して啓蒙、告知活動を増やし、身近な問題として考えて行く必要あり。
- 楽しめるイベント（祭り等）の企画を増やして、若者や老人が参加し交流出来る物が良いと思う。
- 狭山市のホームページに常時意見を送信できる欄を設置させて欲しい。（又は意見、投書のできるホームページへジャンプする URL を貼ってほしい。）個々の活動ホームページより狭山市のホームページの方が閲覧数が多いそうです。
- 自治会活動についての活発化。班組織内の会議開催（1年に2回程度）、今回のアンケートの周知。
- 「地域のつながりと支え合い」を高めるためには、個人の力を借りたり、企業の応援を頂きながら、公の支援をしてまとまる1つのプロジェクトが出来上がったらいいなと思います。企業の応援は企業の宣伝を兼ねて、お互い協力できて活性化につながればよい
- インターネットの活用、気軽に参加できる街づくり
- HP や広報誌等の情報媒体で、誰でも気軽に参加できる活動の紹介や、公民館・サークル・ボランティア活動を紹介して興味を持ってもらえるようにすると、多くの人に見てもらえると考えられますし、参加するきっかけになるでしょう。
- ディサービスに通う必要のない独居老人状態の方や、独身の人が気軽に集まれる場所があればよいと思います。
- 災害時、地域の連携は全くないに等しい。高齢の方はどうしたらよいのか。民生委員、社協の役割に疑問。市議員などの役割にも不満を感じている。狭山市のあらゆる体制の弱さ、甘さに常に不満と不安を感じている。これでは住民は減る一方。
- まだ73歳なので家事・買い物・友人と会うことができます。将来は年金で入れる認知症病院・医療病院の老人養護ホームが必要。
- 自治会役員の選出に困難を極める。自治会に関心を持つ、関わり合いを持つ何か？方策が必要である。
- 同居の母親が、地域の活動やいきがい学校のようなものに積極的に参加し、友人も多くて充実した毎日を送れているのは、狭山市の取組みのお蔭かと思います。私と夫は都内まで通勤している為、地域の活動には全く関わらず、母がいなくなったら地域のことや活動も知らず、老後がどうなるのかと不安もある。地域の高齢化も進んでいて、5年、10年後の様子も不安である。今のところ「福祉制度」を利用することもないのであまり興味がないアンケートでした。
- 高齢なので、現在は車を利用して買い物や病院通いをしていますが、近い将来、車が運転できなくなり、病院通いや買い物等ができなくなった時、支援をお願いできれば幸いです
- 親の介護のために半年前に引っ越してきました。交通、買い物、病院、教育、文化等、地方に住む不便さを感じております。車がないと生活できない地域で、現在61才の自分も将来への不安でいっぱいです。地域のつながりとか考えるより、高齢者が杖をついても買い物や病院に行ける場所作りや、交通手段を考える町づくりをしないと、若い人が流失してしまうと思います。

- ・ 福祉関連の情報がなかなか伝わって来ないように思う。
- ・ 仕事をフルタイムでしているので、余裕がない。地元で育っているが、現在住んでいる地域とは、あまり深いつながりや関わりを持っていない。市内の地域によっては大きな違いがあると感じる。環境によるのか？同じ市内の狭山台に実家があるが、全く雰囲気が異なる。
- ・ ボランティアやNPOの相談窓口はどこにあるのか、場所が分からない。
- ・ 高齢社会の象徴”高齢者の老々介護や独居老人”があまり多いため、見捨てられているのではないかと、病院勤務をしていて痛切に感じます。早急な対応が必要と考えます。
- ・ 福祉バス（茶の花号）の増便と運行コースの充実。運転免許自主返納を促進すべきと思う。
- ・ 入曽駅開発が2020年10月に完成するという計画でしたが、入曽駅東口の開発、いまだに、工事も何も行われていません。狭山市内の駅前で唯一ロータリーも無く、駅前様は大渋滞が起きています。狭山市福祉協議会の力をお借りして、地域住民の活性化のためにも、一刻も早く入曽駅東口の開発を推進して頂きたい。地域福祉を充実させるためにも、是非とも宜しくお願い致します。
- ・ 市街地中心部では充実した施設やサービスが利用できると思いますが、柏原という地域に関しては、子供が遊べて人が集まりやすい環境が、まだ行き届いていないと感じます。
- ・ 大型スーパーへ行く交通手段がなく、日用雑貨などの買物が出来ず不便。
- ・ 入曽に住んでいますが、駅まで1kmあり、タクシーは経済的に使えず、福祉バスは通らない地域なのでとても困っています。自転車は危険ですが、1kmを歩くのは疲れて歩けない。バス路線がある所にも福祉バスが通っているのに。個人的な事かも知れませんが、足が痛い時本当に困っています。福祉バスで市役所や保健センター・狭山市駅に出られる様になれば助かります。勝手な事を言って済みません。市内を循環するバスがあればと思っています。
- ・ 交通の便が悪く、何処にも参加出来なくなりました。今は親切な知人の送迎に甘えて居りますが、何時までも、これではいけないと思っています。バスが利用出来ますよう、小回りのきくバスが通るようお願い致します。
- ・ 福祉の話とはちがいますが、今迄、稲荷山駅へ行っていた茶の花号が変更になってしまったので、水富地区の人達は入間市や飯能市へ出るのにとても不便になっています。ぜひ元に戻して頂きたいと思います。お願いします。
- ・ 地域のつながりの点で、巡回バスをもう少し範囲を拡充して欲しいです。端の地域に住む者にもいろいろな所へ行ける環境づくりから、地域福祉につながると思います。
- ・ 市内のバス路線を細かく作成して頂きたい。（高齢者の買物、サークル活動参加、医療機関への通院等、もう少し考えて頂きたいと思います）
- ・ 役所が福祉・社会保障など、お題目のように言っているのではなく、もっと積極的に活動して欲しい。何か言うてくるまで待っているだけでは決して良くならない。40年前に狭山市に来た時は、活気ある良い市に来たと思っていたが、今はがっかりしている。何もやらない、出来ない市ですね。
- ・ 何もしない名前だけの民生委員はいりません
- ・ こうゆうのにお金を使わず、その分税金を安くしてほしいです。又、他にも、やらなくていいこともあるのでは？もっと、市民の為になる事を親身に考え、税金を無駄に使ってほしくないです。何をやるかより、何をやらないかが大切だと思います。

- ・ 地域が広すぎて対応できないのでは、これでは社協の意味がない。
- ・ ただのアンケートを送られてきただけでは何の評価もできません。4年目というのであればこれまでの実績や結果などの報告書なりを添付していただければ、少しは「あ」これのことかと思うこともあるでしょうけど…。

2. このアンケートに関するもの

- ・ 今回のアンケートは内容が充実しており、非常に良かった。
- ・ アンケートを回答していて、自分が住んでいる「地域の福祉」にもう少し興味と関心を持って、配布される冊子などに目を通して、知っておこうと思いました。
- ・ このアンケートを行ってどのような福祉の充実が改善されたのか。別途決定した内容を通知して欲しい。そうでないと、このアンケート（用紙）が税金の無駄遣いになる。
- ・ このアンケートにより改めて自分が無知であることを知り、今後正したいと思います。
- ・ アンケート対象人数をもっと増やしてほしい。仕事や家事、その他忙しい人のために。対象人数が増えれば住みやすい地域作りができるかもしれないし、意見があまり出ない人や意見が言いたい人とアンケート通じて交流が出来るのではないかと思います。
- ・ 今回のアンケートで、地域福祉についてその内容が少し理解できました。自分にとっての貴重な体験が出来ました。ありがとうございました。
- ・ 他市にて福祉関係の仕事に従事しています。今回のアンケートを見て、改めて地域住民のひとりとして、市内の活動についての知識が皆無である事を痛切に感じました。今後は仕事先での業務だけでなく、狭山市住民として「地域」についてのアンテナを高く持ちたいと思います。狭山市・狭山市社会福祉協議会の発展に期待しています。
- ・ 活動されている方々へ尊敬の気持ちがあります。小さい事から…と思いますが様々な面で住みやすい町になる事は皆が思うことだと思います。このアンケートの様に、地域福祉について考えるきっかけになる機会が増えると良いと思いました。
- ・ 現在、特に困った事に直面していないので、アンケートに答え難いところがあった。障害のある人、病気の人などにアンケートしたら、具体的な意見が聞けたのでは、いろんな方のアンケート結果が、生かされると良いですね。
- ・ 普段、なにげなく生活していて、考えることもなかったことが、アンケートのお蔭で、ゆっくり振り返り、思い返す機会にもなりました。有難うございました。
- ・ 今まで関心が無かったのですが、このアンケートで興味が湧いて来ました。今後は市の情報紙にも目を通そうと思います。
- ・ このアンケートが届いた時に何で私なの、面倒くさいと思いました。大事なことなんだと思います。自分が出来ることは挨拶位しかないので、笑顔で挨拶をと心掛けて生活していきたいです。
- ・ 誰もが支えあって暮らせる環境、いろんな人が楽しく明るい生活が実現できるように願っています。このアンケートでいろいろなことを考えさせられました。
- ・ 普段、狭山にいる時間がそんなに長くないので、地域でこんな活動をしているんだと少し勉強になりました。

- 選択肢や基となる情報が少ないので、選ぶのは辛いです。問 25 の優先的と言えどどれも優先的と言えるのではないのでしょうか。アンケートの結果は必ず、市役所の HP や広報誌に必ず載せてください。
- アンケートの形式が、古すぎて無駄が多い、ただやっているフリに感じる、アリバイづくりのよう。他の市町村でうまくいっているケースを参考にした方が良い。
- アンケートはあまりにも大雑把すぎる。理想でしかなく、解決には遠いと思う。見えないところで多くの方が多忙な時間を費やしてくれているのだと思うが、目に見えない分、市と協議会の掲げる「狭山市地域福祉計画」は分かり難い。逆に何をし、どういった取り組みをし、4 年で何が変わったのか、教えてほしい。
- 誰が何の為にアンケートをしようと思ったのかはわかりませんが、紙とインクのムダだと思えます。
- 今回のアンケートは、堅苦しい文言が多く最後まで行くのがつらかった。
- アンケートの内容で、分かり難い箇所があった。
- 正しい解答ができなくて申し訳ありません。いろいろとありがとうございます。今後共よろしく願います。
- 問 24 について：地域福祉推進計画は知りませんが、各取り組みが進んでいるかどうか感覚的に判断するのは難しいと思えます。わからない以外の多くが、いい加減な回答とならざるを得ません。回答者側の思考回路を考慮した質問設定が必要と感じました。（調査者側はこうした情報が欲しいのでしょうか）
- 問 6 の地域福祉の質問内容については、現在住んでいる場所としての答えとしてあります。
- 仕事熱心なのはわかるが、あまりにも項目数が多く、読むだけで大変だ、もう少し簡略化できないですか。
- 問 24 で、分からないに〇をしましたが、市と社協の取り組みが、今一つ見えてこないように思われます。
- 知的障害を持つ息子宛てに届いた。本人には記入できないので、母親である私が記入しました。問 14 の①と⑨は、過去に行った事項です。
- 「地域福祉推進」計画の存在そのものを知らなかったために、問 6 は全て分からないの回答になりましたことをお許し下さい。狭山市へ転入して間もなく 4 年となりますが、市の福祉に関する取り組みには良い印象を感じていることを申し添えます。
- アンケートの項目数が、多すぎます。
- このアンケートの英語版があったら良かったです。
- 地域のつながりと支え合いというと、高齢者のイメージがある。このアンケートを高齢者の生活をイメージしたもののよう思われた。現在は母子家庭や父子家庭、子供の貧困やひきこもり、それぞれ家庭環境が複雑になっているし、若い人から高齢者まで自分の生活でいっぱい、いっぱい、他人の生活まで関わったり、手伝う余裕がないと思う。
- 毎年このようなアンケートが来ますが、高齢の為、次はもっと若い方にお願いして下さいよろしく願います。（85才老人より）
- 封筒にのりがあると、とてもありがたいです。
- 社会福祉協議会の事を知らないのに、アンケートに答えて良いのかと思った。

- ・ 本人は、仕事の出張で出ています。親の考えでマークしました。

3. その他

- ・ アンケートを取ることは大事だが、現在の情報発表（発信）が十分とは言えない。
- ・ 問 25 の項目について現状はどうなっているのか、どう評価しているのか。社協の働きが充分伝わっていないのではないか。
- ・ 社会福祉法人が狭山市にあるかどうかもわからずに過ごしてきました、65 歳も過ぎ、働ける間は働くつもりでいますが、地域のつながりも大切な事を最近感じています。大災害がいつ起きてもおかしくない今日この頃ですので、機会があれば参加したいと思います。社協が地域の人達に積極的に呼びかけることを望みます。
- ・ 私の住む自治会は地域が広く、その年の班長が会議や世話役を行います。その一年は地域活動の情報は入ります。しかしそれが終わると、あまり関心がなくなります。多分、義務的に一年間班長をしているからだだと思います。そして自治会費が年間で見ると高いです。何にどのように使われているか不明瞭です。そんな不満が地域活動への興味を失わせているのかもしれない。皆が興味の持てる活動、参加しやすい活動であれば、協力したいと思う気持ちになるかもしれません。
- ・ 災害については不安です。入間川が氾濫したら不安です。
- ・ 地域のつながりは大事だと思うが、実際は、地域の年輩の方々の意見が通り、理不尽なことが通ってしまい、若い世代の考えは無視されてしまうことが多い。世代を超えて、意見交換ができればよいと思うが、実際は年配の意見が正しいとなっています。実際に、理不尽な場所にゴミ捨て場を強要されたりと、年配の方々のやりたい放題に目をつぶり、我慢をする日々を送っています。
- ・ 80 歳を過ぎた今、子どもは夜遅くしか家に居ません。身体も思うように動けなくなり、買い物に行くにも大変になってきたので、これから、誰に頼ればよいのかわかりません。また、他人様に迷惑を掛けたくないで、毎日の生活で一番の心配事は食事のことです。
- ・ 高齢化が進み、金銭面の貧しさから、障害のある親を施設ではなく、自宅で看るケースが多くなると思います。若い人たちが職を失うことなく自分の生活をしっかりと送れるように、リタイアしても元気な人たちの中で介護経験者も沢山いると思うので、地域で支えていければと思います。
- ・ ボランティアは OK、いずれ地域の役に立てればと思っています。
- ・ 2～3ヶ所に移住して来て 1 週間で地域 7 軒の小地域です。まだ顔も名前もよくわからないので書きようがありませんでした。
- ・ 集合住宅に住んでいると地域とのつながりが無い。どのような取り組みをしているか、全く情報が入ってこない。通勤の往復だけで 1 日が過ぎ、地域のことがよくわからない。
- ・ 今の時代、自治会の制度は時代にマッチしないと思う。自治会長から「みんながやっている。なめてんのか」と言われながら、深夜帰宅後、回覧版や広報を配布した。大変でした。自治会を退会したい。会費は飲み会に使うだけで有意義に使われていません。それでも会費は足りないといひます。すでに地域のつながりは崩壊していると思う。

- 自治会への入会は強制ではないので、入会者が少なく、狭山市の広報誌を見ている人がいないのでは。議会だよりのニュース等わかっている人は何人もいません。
- 何でもやってもらうばかりでなく、自分が独立・自立できるよう指導して欲しい。
- 自治会活動＋祭り＝人間関係の構築
- 日中、勤めの人が多く、近所も留守が多く会う機会が少ないので、あまり親しく話すことも少ない。そのため地域のつながりがごく限られてしまい、支え合う気は遠く感じます。
- マンションに住んでいますが、最近挨拶もしない人が増えて、残念に思っています。自分から声をかけるようにしています、小さな 小さな一歩ですが。
- 自治会や福祉に関心のない人が多いと思う。若い人は子育て教室や生活に大変なのかなぁ。年金の差を思う。ギャップ。
- 高齢者が増えて、福祉関係に巨額の費用がかかりますが、人として粗末な考えを持つことは困ります。関係者方々の努力を望みます。良い社会が来ることを望みます。
- 支え合いがいかに大切なのか等、噛んで含めるようにじっくり語り合う必要があります。
- 狭山市は自然環境が豊富なので地域別に予算を計上し、「桜を見る会」のようなレクリエーション活動を行うとよい。
- 怪我で休職中に国からの支援が欲しい、後遺症があるにもかかわらず「障害者手帳」がおりない。
- 自治会の班長を一年間務めて、辞めても自治会の人とは道で会えば挨拶しています。自治会が高齢化が進んでいると思いますが、そういう方を見ていると、若い自分をもっと協力しなければと思いますが、なかなか仕事や家庭の事情で手伝えないことが多いです。そのような高齢者もいなくなると、ますます地域は寂しいところになってしまうと感じている。
- 「狭山市地域福祉推進計画」自体全く知らなかった者にとって、アンケートに答えるのが難しかった。特に問6は、福祉を身近に必要な本人になって見て初めて見えてくる事項ではないでしょうか。それほどのんびり日常を過ごしているという反省を含めて、もっと周りに気を配らねばと思います。
- ゴミ出しの時間に間に合わなかった場合、近くの場所に出せるようにしてほしい。
- 住民相互の助け合いは必要だと思いますが、全てそのような考え方に頼ることにしないで、まずは自己で社会生活をするに必要だと思えます。何でも役所に頼るのは良くないと思うし、それを役所がしていれば、よい地域は作れないと思います。人間が弱くなっていると思う。精神的にも肉体的にも。昭和初期のような日本人の考え方や生きざまを子供のころから、教育で知ることが必要です。日本の文化の良いところを子ども達・若者に言い伝え、家族の大切さが今こそ必要だと思います。日本の祝日はレジャーをする時間でなく、祝日の意味を伝える時間とすべきです。
- 自治会が重要だというのは分かっているが、班長などになり活動に関わってみると、永年役員をされている方達の考え方や態度にとても違和感を感じて、ついていけなくなる。自治会を超えて地域の人達と関わっていける方法などの情報が欲しい。
- 不老川の近くに住んでいますが、市民農園の利用者が、近くの川から野菜用の水をバケツで何度も水汲み…注意すると逆ギレされてしまう。市役所に連絡するが住民同士で仲良くし

て下さいとのこと。市役所は小さいことにでも耳を貸して下さい。川に階段を作り水汲み、こどもが川に入って遊んでいました、危険で事故が起こらないか心配です。

- 障害者への思いやりや、理解がまだまだ低い。
- 防災無線ですが、最近の家屋は気密性が高いため、室内にいと内容が聞き取り難いので考慮して欲しい。
- いつも、より良い市政づくりに感謝申し上げます。これからもより良く住みやすい、狭山市に期待しております。
- 狭山市は幸い災害が少ない土地の様に思います。先日の台風の後のボランティアなどへ参加しようか、という気持ちはあるのですが。
- 地域のつながりは挨拶程度で良い。障害のある人間の中にも大声でどなり、暴言をはくなどルールやマナーを守れない人間もいるので、福祉職の方は性善説をやみくもに信ぜず、注意するなど、現実的な対応を取ってほしい。
- 最近、狭山市も治安が悪化している様に思う。毎日のように振り込め詐欺の放送が流れる。また悪質な訪問販売員、しつこいNHK訪問員がくる。これらの連中を即座に取り締まってほしい。またそういう法律も出来たらよい。
- 市役所にいろいろお世話になり、感謝しています。
- あまり家に居ないし、狭山についてよく知りません。
- 社会福祉協議会というものの存在を知らなかったし、活動していたということを知ることがなかった。
- 狭山市は他の市と比べて市民税が高いです。その分住みやすい市にするべき。すべての面で、他の市を見倣って下さい。
- 問 26 の答えではないのですが、数年前から、お隣との関係がうまくいかず、少し悩んでおります。かといってわざわざこちらから話そうとも思わず、又、道で挨拶しようとしても、逆に気付かないふりをして通り過ぎたりと…外に出たら逢うのではと思うと外にも出たくない。時間が解決してくれるとは思えないし。
- 移住して3年程なので、地域についてよく分からないことが多い。
- PTA 活動や民生委員をしていた時には、さまざまな情報を直接知ることや実際に行動に移せる機会がありましたが、現在のように仕事をフルタイムでしていると、全く耳にすることも目にすることも、また、自分から知ろう（関わろう）とするとする時間もなくなりました。
- 狭山市は色んな活動で、とても大変に思います。また素晴らしい事だと思えます。これからも狭山市をよろしく願います。
- 大変申し訳ございませんが勉強不足のため、アンケートにお答えするのが難しかったです。「地域福祉」について少し調べてみたいです。母が認知症のため、毎日の生活だけでも、とても大変です。もう少し地域活動にも参加したいのですが…。
- 普段からの一言の声掛けと、地域活動へ出来る範囲で参加等を行いたい。
- 他人はこわい、だから、警察の人が1人で回って来た時も、本当に警察かと、色々と事件が多すぎる。外国の人、若い人にまじめに働かない人が、なぜ多いのか？
- 政治家は、私腹を肥やす人で、底辺の人の事など本気で考えてはいない!! まだまだ、復興する所がいっぱいあるのに。アメリカの言いなり!! アホか、もっと国内を見ろ!! 政治家(参

議員)の人数を減らすと言ってたのに増やす?税金の無駄は1番に政治家の歳費など!!公務員の勝手ばかりが見える。海外ばかりでなく国の平均的底辺の私の生活は月々10万5千円での年金生活です。

- 活動されている皆様には頭が下がります。今は、仕事も忙しく、体も元気なので、自分のことで忙しくて、周りには手がまわりません。ご近所の仲は良い方だと思うので、自分なりに出来る事を今はしています。
- 企業人時代は、なかなか興味を持つひまも時間もなくてきっかけも作れませんでした。年金世代に入り、何か手伝いになる事と虽っても、体が言う事をきいてくれなくて残念です。
- 古くから住んで居る人達は、代々の付き合いで和気あいあいだが、越して来た人で何年たっても挨拶をしない人達も居る。また家の中から外に出て来てない人も居る。会った時挨拶しても〜…。
- ひまなご老人達、漫然と長生きがいいとは思っていない老人が少なからずいらっしゃると思います。70才、80才、90才超高齢であろうと、あまり考慮せず、何日/月とか何日/週とか、家を出てちょっとでも社会貢献のふりが出来ると、あの世に行くにも気持ち的に楽になりましょう。しかし老人の世話(働きたいと思う人)は大変ですよ。認知症に足を踏み入れている人が多いですから、だからご老人がご老人を活用し、動かし、動けばいいと思いませんか。若い人達に迷惑がかからない何かないでしょうかねー??
- 私は質問に対して適格にお答えできていないかも知れませんが、私は同じマンションの方とは、あまり挨拶が交わされているとは思いません。やはり人との交流の原点は挨拶だと思います。自分も気をつけていかなくてはと思っています。少しでも住みやすい環境になれば良いと願っています。
- 東京在住40年で池袋から移住しました。狭山市は埼玉県の中で、一番物静かな住民の街ですね。狭山茶は全国区ですが…将来は令和の青年達に他の市町村に負けない様、力量を發揮して頂けたらと思います。パンやチョコレート以外に狭山茶を使った食品を開発してみてください。七夕まつりと航空ショーは最高です。
- いつも有難く思っています。景教真光の活動を通じて自身の利他愛の精神で祈り、活動しております。只今は80才を迎えるところですが、他人様のお役に立つ程の余裕はありませんが、心のささえ合い、学び合える場が必要かと思えます。心中では活動する事は好きですが、返ってご迷惑をお掛けしてしまうようになってしまいかと思えます。
- 年々近所との関わりを持ちたくない人が多くなる様です。災害等が増えると社会福祉等の面でも大変なので、このアンケートを機会にこれからの活動を注視したいと思えます。
- 家の前に犬のフンをされる。何か対策をとってほしい。
- 越してきて間がないということもありますが、あまり地域の事に知識がなくてすみません。子供も小さくてあまり活動的になっておらず、地域とのつながりもあまりありません。興味や関心がない訳ではないですが、活動のきっかけが無いと思っています。
- 私の住んでいる堀兼は、昔からの農家という家が多く、比較的地域の交流はある方だと思います。お隣に野菜をあげて、お礼にお菓子を頂いたり、挨拶をしたり、子供同士で遊んだりしています。でも他の地域では、そんなにご近所とは関わらないという人が多いと思います。最近では、子供会にも、入らないという人が増えて来て、あまり関わりをもつのを好ま

ない人もいるので、どこまで他人のことに首を突っ込むか、難しいところだと思います。ですが、困っている人がいたら、助け合える地域になればいいなと思います。

- 現状があまりつらすぎて他のことは考えられません
- 私達（60代）より上の世代の方は、大変元気な方が多い様な気がします。自分にはまだ幼稚園の孫がいるので、息子夫婦が共働きなので、時々孫を見てほしいと頼まれたりしていますので、今は自由な時間が少なく、何にも地域活動のお手伝いは出来ないと思います。
- 私自身が高齢者の年齢（60代）に入った時は、一人暮らしだったせいだと思いますが、民生委員の方が来て下さいました。その後、娘親子が同居する様になってからは、年齢が増えて来た現在ですが、そういう事はなくなりました。同居と言っても日中はほとんど一人暮らしです。今のところ何も困る事はございませんが、80才代を過ぎるとちょぴり寂しさを感じる事があります。
- 社協を通じて、ボランティア活動をしています。協力できることは限られますが、活動の巾を広げていけたらと思っています。
- 今まで健康だったこともあり、趣味等で都内に出掛けたりする機会が多かった為、地元との関わりも無く、地元の事に関して余りにも無知な自分を反省しています。このアンケートを機会に社会福祉協議会の取り組んでいる内容等をもっと理解しなくてはと感じました。
- 狭山市全体の予算が削られ、10年間の予算は20年前より減少しています。その中で社会福祉協議会の予算も削られ、大変だと思います。市長、市がもっと予算を作る必要があると思います。市に相談すると何も予算がなく、すべて削減しています。この問題をどうするか小谷野（市長）くんに問いかけたい。
- 残念ながら今のご時世、メリットがあるかないかを考える人が多数と思うので、その意味が伝わらない以上、参加を促すのは難しいと思います。少しの間でもスマホをいじるように、皆さんは時間を無駄にしたくないようです。その時間が自分にとって意味があることだと思ってもらえないようでは無理なのではないでしょうか。
- 趣味はあらゆる年代の人を結びつけます。世代間の交流を促すのならそれしかないのでは？「自分がやらなくても他の人がやるだろう」と思って、皆生活しているはずで、「他の人」がいないと知れば、自ずと助け合うのではないのでしょうか。
- 子どもが小さい時は、地域との関わりも多くありました。しかし、子どもの成長と共に減少しています。また、仕事の忙しさもあり、地域の行事への参加も減っている現状では、地域福祉を問われてもピンときません。
- 成年後見制度について、狭山市（社協）が取り組んでいることは知っていた。必要性はこれからも高くなって行くだらうと考える。
- アンケート対象の本人が要介護3で特養に入っています。認知症もあり本人が回答するのは困難な為、家族が本人の立場で記入したためアンケート回答としては不正解かも知れません。でも本人は介護施設で手厚い介護を受け、家族は平穩に過ごせている現状に感謝しています今後の老人福祉サービスの充実を願っています。
- 病氣療養中の為、積極的に協力参加できませんが、体調が許す限りなるべく地域との関りを持って過ごしていきたいと思っています。

- 困った時に手を差し伸べられるような、そんな人に優しい地域になれば、皆にとって住みやすい街になると思います。少しの気遣いと、出来る範囲の支援を無理なくであれば協力したい。気持ちはあってもボランティア登録までにはなりません。まずは身近なご近所付き合いを大切にしたいと思います。
- 車の運転に関しての意見です。よく信号が黄色から赤に変わるまでの間をスピードを上げて運転をしているのが多く目にすると感じています。保育士や小学生たちが、それを覚えて知らない内にそれが当たり前になって欲しくないなと思っています。
- 近頃、他県等で自治会が無く、集金・その他の煩わしさが無くて良い等とお聞きします。しかし、そんなことはなく、去年は1年間のお当番制の班長をさせて頂きましたが、14軒程でもしばらく振りにお会いする方が多くて、今の自治会はやはり素晴らしいと思いました。班長がゆえにちょっと気になる事が出来たり。いつもお世話になっている市・自治会役員さんに感謝です。よいお年をお迎えください。
- もう少し、隣近所での付き合いがあると助かる気がする。挨拶程度はするが、女の一人暮らしは隣人がどんな人か気になります。
- 台風19号の時、初めて避難をしました。知らない方から挨拶をされてびっくりしました。人見知りのため、避難での緊張もあり、あまりしゃべれず申し訳なかったですが、このアンケートを記入しながら、あれが「地域のつながりと支え合い」だったのだと痛感しています。
- 繋がりや支え合いは大切だと思います。具体的な提案は今のところありません。それだけ、地域が安全で、且つうまくいっている証かと思います。市役所の職員の方々の日々の努力には感謝しております。
- いろいろな協議には出席したいと思いますが、常に外出を制限せざるを得ない理由（年柄もなく人前では話し難い体調を抱えている者について、例えば独居老人で悶々とその日を送っている方等、かなり団地にはおられると思いますが）で出席できない。
- 狭山市に住んでいて感じる事として人間関係（近所付き合い）が希薄であって、災害時の避難所生活が苦痛になりそうです。

第3節 クロス集計の結果

(1)「悩みや不安」に関すること

1. 年代別の「悩みや不安」(問2、問7)

問7. 暮らしの中で、あなた自身やご家庭のことで、どのような「悩み・不安」がありますか (単位 %)

	40歳未満	40～64歳	65歳以上
1. 自身の健康・病気	27.7	46.3	62.3
2. 自身の老後・将来	35.0	44.6	39.8
3. 家計・金銭的なこと	30.7	34.1	19.5
4. 家族の介護	10.9	17.2	8.7
5. 家族の引きこもり	0.7	2.7	1.3
6. ゴミ出し	2.2	3.7	2.4
7. 買い物、外出	3.6	1.7	7.9
8. 子育て・教育	21.9	8.8	0.3
9. 生きがい	8.0	6.1	9.0
10. 住まい (ゴミ・騒音など)	2.2	3.0	1.8
11. 治安・防犯	12.4	8.4	9.2
12. 近所づきあい	4.4	3.4	3.7
13. 独居・孤独死	1.5	4.1	3.7
14. 仕事上のトラブルや人間関係	6.6	4.4	0.8
15. その他	1.5	1.7	2.1
16. 特にない	19.0	12.5	14.5
<i>回答者総数812</i>	<i>137</i>	<i>296</i>	<i>379</i>
<i>複数回答総数</i>	<i>258</i>	<i>600</i>	<i>709</i>

年齢層が高くなるにつれ、「健康・病気」の不安が高くなっている。

「老後・将来」「家計・金銭的なこと」「家族の介護」は40～64歳、「子育て・教育」は40歳未満をピークにしている。

2. 年代別の「悩みや不安」の相談先（問2、問8）

問8. その「悩み・不安」について、誰に相談されていますか
（単位 %）

	40歳未満	40～64歳	65歳以上
1. 家族・親戚	53.3	56.8	48.8
2. 知人・友人	36.5	32.1	27.4
3. 隣近所の方	2.9	3.7	5.8
4. 民生委員・児童委員	0.0	0.0	1.8
5. 自治会役員（自治会長・班長）	0.0	1.0	1.1
6. 職場の人	8.8	7.4	1.3
7. 医療機関	6.6	9.5	18.5
8. 市役所	0.7	1.0	2.6
9. 社会福祉協議会	0.0	1.0	0.8
10. NPO法人	0.0	0.0	0.0
11. ボランティア団体（配食・サロン・話し相手等）	0.7	0.0	1.3
12. 福祉施設（保育所・障害者施設・特別養護老人ホーム等）	1.5	1.0	1.8
13. 相談機関（地域包括支援センター・ケアマネジャー等）	2.2	4.7	5.5
14. 教育機関（幼稚園・保育園・学校等）	3.6	1.4	0.0
15. 相談できる人や相談先がない	4.4	9.8	6.9
16. 相談したくない、自分で解決する	7.3	9.1	5.3
17. その他	2.9	2.0	1.6
<i>複数回答総数</i>	<i>180</i>	<i>416</i>	<i>495</i>

どの年代でも「家族・親族」「友人・知人」への相談が多くなっている。
65歳以上については「医療機関」への相談も多い。

3. 「悩み」と「相談先」の状況（問7、問8）

※項目数が多いため、最終ページにA3で添付。

(2) 近所づきあいに関すること

4. 年代別の近所づきあいへの考え方（問2、問9）

問9. 「ご近所づきあい」について、あなたの考えに近いものはどれですか（単位 %）

	40歳未満	40～64歳	65歳以上
1. 日頃から大切にしている	14.2	27.8	43.5
2. 万が一の際は、互いに助け合えるよう心がけている	19.4	27.1	24.6
3. 顔や名前くらいは、知っている	41.0	24.7	17.2
4. プライバシーがあり、あまり関わらないようにしている	14.2	12.7	11.2
5. 関わりたくない、またはその必要がない	6.0	4.5	2.1
6. その他	5.2	3.1	1.5
<i>回答総数</i>	<i>134</i>	<i>291</i>	<i>338</i>

年齢層が高くなるほど、近所づきあいを大切にしている傾向が強い。

5. 年代別の近所での課題に対する解決方法（問2、問11）

問11. 仮に、ご近所で身の回りのことや家事等に課題を抱える方がいた場合の解決方法について、あなたの考えに近いものはどれですか（単位 %）

	40歳未満	40～64歳	65歳以上
1. 近所に住む者として、できる範囲で支援したい	19.9	30.8	43.5
2. 支援をしたいが、何をすれば良いかわからない	24.3	20.5	17.3
3. 支援をしたいが、自分のことで精一杯で、その余裕がない	40.4	30.1	27.0
4. 余計なお世話になってしまうので、支援はしない	11.8	10.6	7.2
5. 支援は行政の仕事だから、近所の者がしなくてもよい	2.9	3.4	2.2
6. その他	0.7	4.5	2.8
<i>回答総数</i>	<i>136</i>	<i>292</i>	<i>359</i>

年齢層が高くなるほど、近所での課題に対してできる範囲で支援をしたいと考える傾向が強く、年齢層が低くなるほど、自分のことで精一杯で余力がないと考える傾向が強い。

6. 近所づきあいの考え方と近所での課題に対する解決方法の関係性

(問9、問11)

(単位 %)

		問11. 仮に、ご近所で身の回りのことや家事等に課題を抱える方がいた場合の解決方法について、あなたの考えに近いものはどれですか							合計
		1. 近所に住む者として、できる範囲で支援したい	2. 支援をしたいが、何をすれば良いかわからない	3. 支援をしたいが、自分のことで精一杯で、その余裕がない	4. 余計なお世話になってしまふので、支援はしない	5. 支援は行政の仕事だから、近所の者がしなくてもよい	6. その他	無回答	
問9. 「ご近所づきあい」について、あなたの考えに近いものはどれですか	1. 日頃から大切にしている	53.0	18.6	19.8	3.6	0.8	2.8	1.2	247
	2. 万一の際は、互いに助け合えるよう心がけている	46.8	15.4	22.9	9.0	2.1	3.2	0.5	188
	3. 顔や名前ぐらいは、知っている	13.5	28.6	41.6	11.4	2.2	1.6	1.1	185
	4. フライバシーがあり、あまり関わらないようにしている	8.5	19.1	48.9	12.8	6.4	2.1	2.1	94
	5. 関わりたくない、またはその必要がない	7.1	10.7	32.1	21.4	14.3	10.7	3.6	28
	6. その他	23.8	9.5	42.9	19.0	0.0	4.8	0.0	21

近所づきあいを大切にしている人ほど、近所での課題に対してできる範囲で支援したいと考える傾向が強い。

7. 居住形態と近所づきあいの考え方 (問5、問9)

(単位 %)

		問5. 住居形態				
		1. 一戸建て持家	2. 分譲マンション	3. 公団・市営・県営住宅	4. 賃貸マンション・アパート・貸家	5. その他
問9. 「ご近所づきあい」について、あなたの考えに近いものはどれですか	1. 日頃から大切にしている	35.0	28.4	22.9	11.9	8.3
	2. 万一の際は、互いに助け合えるよう心がけている	24.5	26.6	20.0	14.3	0.0
	3. 顔や名前ぐらいは、知っている	22.0	25.7	20.0	26.2	33.3
	4. フライバシーがあり、あまり関わらないようにしている	8.4	7.3	20.0	33.3	8.3
	5. 関わりたくない、またはその必要がない	3.0	2.8	2.9	4.8	25.0
	6. その他	1.3	3.7	8.6	6.0	16.7
	無回答	5.9	5.5	5.7	3.6	8.3
回答数合計		560	109	35	84	12

持ち家と賃貸では、持ち家の人の方が近所づきあいを大切にしている傾向が強い。

(3) 地域活動への参加に関すること

8. 年代別の地域のつながりの必要性に対する考え方（問2、問12）

問12. 地域のつながりの必要性について、あなたの考えに近いものはどれですか（単位 %）

	40歳未満	40～64歳	65歳以上
1. とても必要だと思う	16.8	30.1	45.4
2. まあまあ必要だと思う	68.6	60.1	48.7
3. あまり必要ないと思う	6.6	4.4	3.6
4. 必要ないと思う	0.7	1.4	0.0
5. その他	1.5	0.3	0.0
6. 分からない	5.8	3.7	2.2
回答総数	137	296	357

地域のつながりの必要性について、年齢層が低くなるほど「まあまあ必要だと思う」という回答が多い。

9. 近所づきあいの大切さと地域のつながりの必要性に対する考え方の関係性（問9、問12）（単位 %）

		問12. 地域のつながりの必要性について、あなたの考えに近いものはどれですか							合計
		1. とても必要だと思う	2. まあまあ必要だと思う	3. あまり必要ないと思う	4. 必要ないと思う	5. その他	6. 分からない	無回答	
問9. 「ご近所づきあい」について、あなたの考えに近いものはどれですか	1. 日頃から大切にしている	56.7	40.1	1.2	0.0	0.0	0.8	1.2	247
	2. 万が一の際は、互いに助け合えるよう心がけている	34.6	60.1	2.1	0.0	0.0	0.5	2.7	188
	3. 顔や名前ぐらいは、知っている	14.6	72.4	4.9	0.0	0.5	5.9	1.6	185
	4. プライバシーがあり、あまり関わらないようにしている	18.1	59.6	10.6	3.2	0.0	7.4	1.1	94
	5. 関わりたくない、またはその必要がない	7.1	50.0	21.4	7.1	7.1	7.1	0.0	28
	6. その他	19.0	66.7	4.8	0.0	0.0	9.5	0.0	21

近所づきあいを大切にしている人ほど、地域のつながりの必要性を感じている傾向が強い。

10. 年代別の地域活動を始めた動機（問2、問15）

問15. 地域活動を始めた動機（キッカケ）は何ですか （単位 %）

	40歳未満	40～64歳	65歳以上
1. 家族や知人などから誘われたから	33.3	27.8	24.0
2. 活動の趣旨・目的に賛同したから	30.3	31.0	26.3
3. 仕事や子育て等が終わり、時間に余裕ができたから	0.0	4.0	16.2
4. 仕事や子育て等が終わり、多少の収入を得たいから	0.0	0.8	1.1
5. 災害を契機として関心を持ったから	0.0	4.8	3.4
6. 家族、友人等に困っている人がいて、力になろうと思ったから	9.1	4.0	7.3
7. 自分の居場所を作ろうと思ったから	6.1	5.6	11.7
8. その他	21.2	22.2	10.1
<i>回答総数</i>	<i>33</i>	<i>126</i>	<i>179</i>

どの年齢層でも「家族や知人に誘われたから」「活動の趣旨・目的に賛同したから」という回答が多い。年齢層が高くなるほど「時間に余裕ができたから」という回答が増えている。

11. 年代別の地域活動への参加意欲（問2、問17）

問17. 今後、地域活動への参加の依頼があった場合、あなたは地域活動に参加したいと思いますか （単位 %）

	40歳未満	40～64歳	65歳以上
1. 参加したいと思う	8.1	12.6	21.3
2. まあ参加したいと思う	34.8	34.0	36.0
3. あまり参加したいと思わない	25.9	26.5	17.3
4. 参加したいと思わない	10.4	10.5	9.2
5. その他	5.9	5.8	7.8
6. 分からない	14.8	10.5	8.4
<i>回答総数</i>	<i>135</i>	<i>294</i>	<i>347</i>

年齢層が高くなるほど、地域活動への勧誘があった場合に「参加したいと思う」と回答する傾向が強い。

1 2. 年代別の地域活動への参加をしたくない理由（問2、問18）

問18. 地域活動への参加をしたいと思わない理由は何ですか（単位 %）

	40歳未満	40～64歳	65歳以上
1. 仕事を持っているので時間がない	59.4	75.7	18.9
2. どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない	23.4	15.9	7.4
3. 興味を持てる活動が見当たらない	9.4	18.7	10.1
4. 健康や体力に自信がない	23.4	24.3	50.7
5. 家事・育児・介護に忙しくて時間がない	21.9	15.0	7.4
6. 活動に際しての出費等の負担が大きい	14.1	4.7	4.1
7. 家族の理解が得られない	0.0	0.0	2.7
8. 地域にあまり関わりたくない	6.3	10.3	8.8
9. その他	1.6	11.2	8.8
<i>回答総数</i>	<i>64</i>	<i>107</i>	<i>148</i>

年齢層が低いほど、地域活動へ参加をしたくない理由として「地域活動に関する情報がない」と回答している傾向が強い。

また、64歳未満の年齢層では「仕事を持っているので時間がない」、65歳以上では「健康や体力に自信がない」との回答が多い。

(4) 身近に感じる「地域」とこれからの地域福祉に関すること

1 3. 年齢別の社会福祉協議会の認知度（問2、問21）

問21. あなたは、社会福祉協議会という名前や社会福祉協議会の活動を知っていますか（単位 %）

	40歳未満	40～64歳	65歳以上
1. 名前も活動も知っている	6.6	17.3	31.1
2. 活動は知らないが、名前ぐらいは知っている	45.3	47.8	52.5
3. 名前も活動も知らない	47.4	34.9	13.9
4. その他	0.7	0.0	2.5
<i>回答総数</i>	<i>137</i>	<i>295</i>	<i>366</i>

年齢層が低いほど、社会福祉協議会の認知度が低い傾向が強い。

1 4. 年代別の民生員の認知度（問2、問22）

問22. あなたは、民生委員の役割や担当民生委員の氏名を知っていますか（単位 %）

	40歳未満	40～64歳	65歳以上
1. 民生委員の役割と、担当民生委員の氏名の両方を知っている	4.4	10.8	36.3
2. 民生委員の役割は知っているが、担当民生委員の氏名は知らない	29.9	43.6	35.7
3. 民生委員の役割は知らないが、担当民生委員の氏名は知っている	2.9	7.1	10.4
4. 知らない	62.8	38.5	17.6
<i>回答総数</i>	<i>137</i>	<i>296</i>	<i>364</i>

年齢層が高いほど、民生委員の認知度が高い傾向が強い。

15. 年代別の暮らしやすい地域にしていくための考え方（問2、問23）

問23. 暮らしやすい地域にするためには、何が重要だと思いますか（単位 %）

	40歳未満	40～64歳	65歳以上
1. 家族内での支え合い	36.5	32.8	24.0
2. ご近所づきあい	36.5	40.9	49.6
3. 地域住民の支え合いや助け合い	33.6	33.8	31.9
4. 住民相互の交流や交流の場	14.6	5.7	15.8
5. 自治会活動の活性化	4.4	7.4	16.9
6. 買い物先や外出支援の充実	13.9	12.5	7.9
7. NPO法人等が行う福祉サービスの充実	3.6	2.7	4.7
8. 福祉・保健等に関する情報提供の充実	12.4	14.5	11.1
9. 公的福祉サービス手続きの簡略化	6.6	8.1	5.0
10. 年金等の社会保障、介護等の福祉サービスの充実	6.6	8.4	7.4
11. 医療、医療機関の充実	16.1	10.1	9.2
12. その他	27.0	49.0	32.5
回答者総数812	137	296	379
複数回答総数	290	669	819

どの年齢層でも「家族内での支え合い」「ご近所づきあい」「地域住民の支え合いや助け合い」の必要性を感じている回答が多い。
年齢層が高いほど、「ご近所づきあい」「自治会活動の活性化」の必要性を感じている傾向が強い。

16. 年代別の地域福祉の充実のために市や社会福祉協議会が優先的に取り組むべきこと（問2，問25）

問25. 今後、地域福祉を充実させるために、市や社会福祉協議会が優先的に取り組むべきものは何だと思えますか（単位 %）

	40歳未満	40～64歳	65歳以上
1. 小中学校等における福祉教育の充実	34.3	20.3	15.0
2. 地域における災害時の体制整備	46.0	41.6	38.5
3. 地域福祉に関連する人材の育成	17.5	19.9	22.7
4. 福祉に関連する事業者の育成	8.0	9.5	7.7
5. 地域福祉活動団体による福祉サービスの充実・質の向上	16.8	24.0	17.4
6. 福祉に関連する総合相談など、相談体制の充実	16.1	25.7	28.2
7. 成年後見制度の利用促進や虐待防止などの権利擁護事業の推進	6.6	6.8	6.3
8. 関係機関の連携の推進	13.1	16.6	9.0
9. 情報提供体制の充実	26.3	32.1	21.9
10. 地域福祉懇談会やワークショップによる地域情報の共有の充実	4.4	3.0	3.7
11. ボランティア、NPOや福祉事業者との協議	6.6	6.8	4.2
12. 地域活動への参加の促進	11.7	10.5	16.1
13. 障害の理解促進	12.4	8.4	7.4
14. 世代間交流の促進	8.0	9.8	10.0
15. その他	2.9	2.7	1.1
<i>回答者総数812</i>	<i>137</i>	<i>296</i>	<i>379</i>
<i>複数回答総数</i>	<i>316</i>	<i>703</i>	<i>793</i>

年齢層が低いほど、「小中学校等における福祉教育の充実」「地域における災害時の体制整備」の必要性を感じている傾向が強い。
 年齢層が高いほど、「地域福祉に関する人材の育成」「福祉に関連する総合相談など、相談体制の充実」の必要性を感じている傾向が強い。

3. 悩みと相談先の状況を把握する (単位：%)

		問8. その「悩み・不安」について、誰に相談されていますか																		問7 回答数 合計
		1.家族・ 親戚	2.知人・ 友人	3.隣近所 の方	4.民生委 員・児童 委員	5.自治会 役員(自 治会長・ 班長)	6.職場の 人	7.医療機 関	8.市役所	9.社会福 祉協議会	10.NPO 法人	11.ボラン ティア団 体(配 食・サロ ン・話し 相手等)	12.福祉施 設(保育 所・障害 者施設・ 特別養護 老人ホー ム等)	13.相談機 関(地域 包括支援 セン ター・ケ アマネー ジャー 等)	14.教育機 関(幼稚 園・保育 園・学校 等)	15.相談で きる人や 相談先が ない	16.相談し たくない、自分 で解決す る	17.その 他	無回答	
問7. 暮らしの中で、あなた自身やご家庭のことで、どのような「悩み・不安」がありますか	1.自身の健康・病気	35.5	19.9	2.7	0.8	0.6	2.7	12.7	1.4	0.8	0.0	0.6	1.4	3.2	0.8	5.3	3.9	1.8	5.9	715
	2.自身の老後・将来	39.8	23.4	3.0	0.4	0.4	3.9	7.3	1.6	0.4	0.0	0.4	0.7	2.9	0.4	4.5	5.2	0.7	5.3	561
	3.家計・金銭的なこと	39.2	21.9	2.5	0.0	0.3	5.3	7.2	1.4	0.3	0.0	0.6	0.8	1.9	0.6	5.8	6.7	1.7	3.9	360
	4.家族の介護	35.5	23.3	1.7	1.2	0.0	5.2	9.3	1.7	0.0	0.0	1.7	0.0	5.2	0.0	4.7	2.3	2.9	5.2	172
	5.家族の引きこもり	37.0	22.2	3.7	0.0	0.0	0.0	11.1	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	3.7	14.8	0.0	0.0	27
	6.ゴミ出し	40.5	5.4	5.4	0.0	2.7	0.0	10.8	2.7	0.0	0.0	0.0	2.7	2.7	2.7	13.5	5.4	5.4	0.0	37
	7.買い物、外出	31.6	17.7	5.1	3.8	0.0	0.0	15.2	0.0	5.1	0.0	0.0	1.3	5.1	1.3	5.1	1.3	1.3	6.3	79
	8.子育て・教育	37.0	25.2	4.2	0.0	1.7	5.9	4.2	2.5	0.0	0.0	0.0	0.8	2.5	5.0	2.5	4.2	0.8	3.4	119
	9.生きがい	27.9	23.4	3.6	0.9	1.8	0.9	9.0	0.9	0.9	0.0	2.7	0.9	0.0	0.0	6.3	9.0	1.8	9.9	111
	10.住まい(ゴミ・騒音など)	35.3	20.6	11.8	0.0	0.0	2.9	5.9	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	5.9	0.0	2.9	34
	11.治安・防犯	39.6	20.9	7.2	1.4	1.4	0.7	10.1	0.7	0.0	0.0	0.7	0.0	2.9	0.0	2.2	4.3	2.9	5.0	139
	12.近所づきあい	31.1	22.2	2.2	0.0	2.2	0.0	6.7	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4	2.2	13.3	4.4	0.0	8.9	45
	13.独居・孤独死	22.4	20.4	6.1	2.0	0.0	4.1	6.1	2.0	2.0	0.0	0.0	2.0	4.1	0.0	16.3	10.2	0.0	2.0	49
	14.仕事上のトラブルや人間関係	35.6	24.4	2.2	0.0	0.0	13.3	6.7	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	2.2	2.2	0.0	8.9	45
	15.その他	20.7	6.9	0.0	0.0	3.4	3.4	17.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	10.3	6.9	6.9	6.9	10.3	3.4	29
	16.特になし	3.3	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	94.2	120
無回答	28.9	22.7	1.0	0.0	0.0	5.2	6.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	5.2	1.0	9.3	2.1	0.0	17.5	97	
問8回答数合計		950	562	85	17	16	93	244	37	16	0	15	24	83	22	143	128	41	263	2,739